

多文化共生に関するアンケート調査 調 査 結 果 報 告 書

2020（令和2）年3月

長 久 手 市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の方法	1
3	集計・分析、報告書への記載にあたって	1
II	統計資料	2
1	外国人住民数	2
III	調査結果まとめ	3
1	日本人市民アンケート結果まとめ	3
2	外国人市民アンケート結果まとめ	4
IV	日本人市民アンケート結果	5
1	あなたご自身について	5
2	日常での外国人市民との関わりについて	7
3	今後の外国人市民との関わりについて	17
4	長久手市の国際交流・多文化共生施策について	21
5	多文化共生の地域づくりについて	24
6	その他（意見・要望）	28
V	外国人市民アンケート結果	30
1	あなた自身について	30
2	生活の情報について	34
3	言語について	40
4	子どもの教育について	51
5	地域での生活について	55
6	その他（意見・要望）	58
VI	資料	59
1	日本人市民アンケート調査票	59
2	外国人市民アンケート調査票	68

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、日本人・外国人市民の市民意識、日常生活での困りごと、国際交流、多文化共生についての実態を把握し、「長久手市多文化共生推進基本計画（仮）」策定の基礎資料を得ることを目的に実施しました。

2 調査の方法

『長久手市多文化共生に関するアンケート調査』

- (1) 調査対象者：長久手市内にお住まいの 18 歳以上の日本人市民 1,000 人（無作為抽出）
および 18 歳以上の全外国人市民
- (2) 調査方法：郵送配布・郵送回収、WEB 回答
- (3) 調査期間：令和元年 12 月 13 日～令和 2 年 1 月 6 日
- (4) 担当部署：長久手市くらし文化部たつせがある課
- (5) 回収結果

配布数		有効回答数	有効回答率
日本人市民	998 件	387 件（内 Web 回答 59 件）	38.8%
外国人市民	1,004 件	171 件（内 Web 回答 53 件）	17.0%

（注）宛先不明で戻ってきた人（日本人市民 2 人、外国人市民 22 人）は配布数から除いていません。

3 集計・分析、報告書への記載にあたって

- (1) 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しました。そのためパーセントの合計が 100 にならないこともあります。
- (2) 基数となるべき実数は、件数として掲載しました。したがって比率は、件数を 100%として算出しています。
- (3) 複数回答が可能な質問の場合は、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%なのかという見方をします。そのため、各項目の比率の合計は通常 100%を超えます。
- (4) クロス集計結果において、全体の件数が少ない属性別の回答は分析の対象から除外しています。
- (5) 本報告書中の表、グラフ等の見出し及び文章中での回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合があります。

Ⅱ 統計資料

1 外国人住民数

長久手市の外国人住民数は平成 28 年以降毎年増加しており、全体の人数はこの 4 年間で約 36%増加しています。

国籍別では中国、フィリピン、ベトナム、ネパールの増加が顕著になっています。

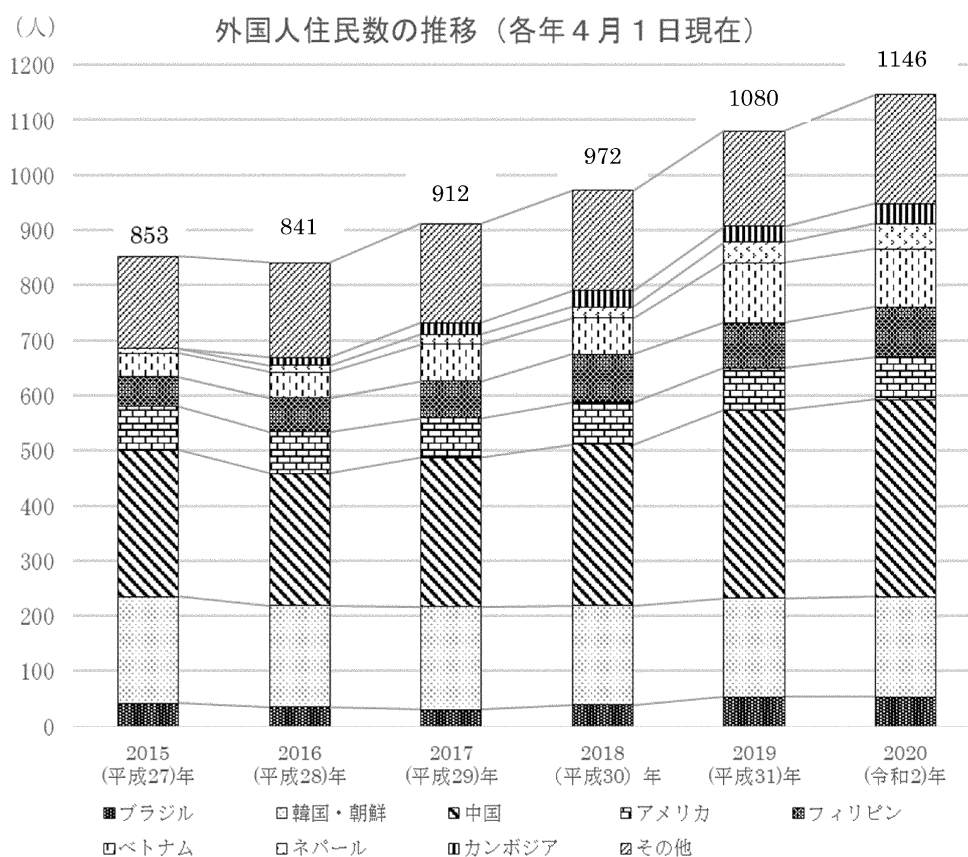


表 外国人住民数国籍別内訳（各年 4 月 1 日現在）

	ブラジル	韓国・朝鮮	中国	アメリカ	フィリピン	ベトナム	ネパール	カンボジア	その他	合計
2015 (平成27)年	42	193	266	79	54	43	8	0	168	853
2016 (平成28)年	35	184	240	75	62	46	13	14	172	841
2017 (平成29)年	31	186	271	71	67	67	18	21	180	912
2018 (平成30)年	39	180	292	77	87	66	20	30	181	972
2019 (平成31)年	53	179	342	76	82	109	38	28	173	1080
2020 (令和2)年	53	182	358	77	91	105	46	36	198	1146
2015年から2020年までの増減数	11	△ 11	92	△ 2	37	62	38	36	30	293

※2020（令和2）年のみ3月1日現在のデータ

Ⅲ 調査結果まとめ

1 日本人市民アンケート結果まとめ

日本人市民アンケート結果を主な項目別に下記にまとめました。

外国人市民との日常的な関わりが増えています（該当ページ P7～16）

- 地域での外国人の存在については、外国の文化・言葉を学ぶ機会が得られるとして肯定的な意見が多くなっています。
- 外国人とは自宅の近所や、職場・学校、駅や道ばたで見かけるなど日常的に関わる機会が多くなっており、また外国人が増えた場合に習慣・文化の違いからトラブルが起こる不安があるとの回答割合はやや高くなっています。
- 実際に外国人とのトラブルを体験したとの回答は少なくなっていますが、外国人のルール・マナーの理解不足とコミュニケーションが上手くいかないことでトラブルを体験したとの声が寄せられています。

外国人市民との関わりを深めていくことが求められます（該当ページ P17～20）

- 今後の外国人との関わりについては、生活上必要最低限は深めたほうがよいとの回答が多くなっており、日本人市民の多くが必要を感じる一方で、関わり方については現状維持でよいという意見が大半を占める状況になっています。
- 外国人市民と関わる機会については、日常的なあいさつの他、地域の活動や災害時などの緊急時といった日本人と外国人がお互いにコミュニケーションをとる必要のある機会の回答が多くなっています。

国際交流に関する取組の方がよく知られています（該当ページ P21～23）

- ワーテルロー市との姉妹都市提携事業やホームステイは居住年数が長くなるほど認知度が高くなっています。その他の事業は、認知度が2割弱となっており、知らない人が多い現状となっています。

外国人市民への生活支援・ルールの周知が重要になっています（該当ページ P24～27）

- 外国人に期待すること、力を入れるべき取組の両設問において、日本のルール・習慣を守ることとその周知が最も多い回答となっています。
- 外国人に期待することとして地域住民との交流や地域の活動参加は最も少なくなっており、外国人と日本人の住み分けがある程度できている現状において地域での交流が重要視されていない状況となっています。
- 日本人と外国人が安心して暮らすために力を入れるべき取組では、日本語学習の支援、外国人の子どもに対する教育の充実、相談体制の充実と多言語での情報提供が多くなっており、今後の外国人市民増加に伴い支援が必要になるという認識が広がっています。
- その他の力を入れるべき取組では、日本人に対する多文化共生の意識啓発や国際理解の推進の回答は少なくなっており、現状では外国人市民が対象となる取組に力を入れるべきという回答が多くなっています。

2 外国人市民アンケート結果まとめ

外国人市民アンケート結果を主な項目別に下記にまとめました。

様々な形で情報提供が必要です（該当ページ P34～39）

- 生活の情報の入手方法は、母国語による情報入手より日々の生活における日本語での入手が多くなっています（回答選択肢：日本語のテレビ・新聞・雑誌、会社や学校、日本の友人・親族）。
- 不安に感じていることは、特に困ったことはないが最も多くなっていますが、日本語のコミュニケーションに関することは幅広い年代と居住年数において回答が多くなっています。
- 母国語で必要だと思う情報は、暮らしに関わる医療・福祉のこと、税金のこと、また災害時の情報が多くっており、言語別では中国語・韓国語・英語での情報提供の需要が高い状況となっています。

生活の場面でのコミュニケーション支援が求められます（該当ページ P40～47）

- 回答者のほぼ半数が日本語を学んでいると回答しており、学んでいる外国人は20代から30代の外国人が多くなっています。
- 日本語の学習方法は、アプリ・教科書を使用した学習が多くなっていますが、日本語教室に行き学んでいる外国人市民は少なくなっています。
- 日本語の理解度は、聞く・話すの能力は高いレベルにある一方で、市役所や銀行の窓口で日本語を上手に話せなくて困ったとの回答があり、公共施設においてコミュニケーション支援が必要な場面があります。

子どもへの言語教育等のサポートの必要性が高まる可能性があります（該当ページ P48～54）

- 子どもと話すときの言語について、0歳から5歳までの子どもがいると回答した35人のうち17人は日本語以外の言語で話すと回答しています。これらの子どもは就学年齢に達したときに、家庭で使用する言語と学校で使用する言語が異なる環境になり、将来的に言語教育の支援が必要になる可能性があります。
- 6歳から15歳までの子どもがいると回答した36人のうち、10人は子どもが学校に通っていないと回答しています。理由として、日本語がわからない、学校生活になじめないなどの回答があり、外国人児童生徒の学校適応のための支援策が必要とされています。

地域の活動への参加促進が重要です（該当ページ P55～57）

- 地域の人との付き合いは、挨拶や時々話をするを含めると約7割の外国人住民が関わりがある状況となっています。
- 地域の活動・行事への参加状況は参加したことがないが過半数以上となっており、行事などを通じた交流は活発ではありませんが、約半数の回答者が地域の人と交流したいと回答しています。

インターネットで回答した人の割合が日本人より多くありました（該当ページ P1）

- このアンケートは、日本人・外国人ともにWEB回答ができるようにしていましたが、外国人は全体の3割がWEBにて回答いただき、日本人の割合より多く利用がありました。

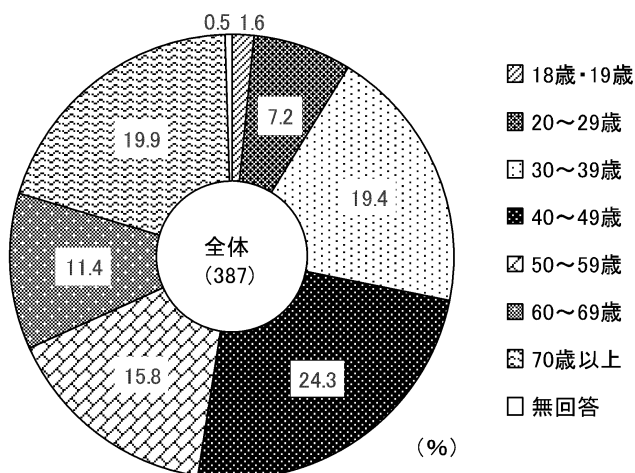
IV 日本人市民アンケート結果

1 あなたご自身について

1-1 年齢

質問1 あなたの年齢は？＜1つに○印＞

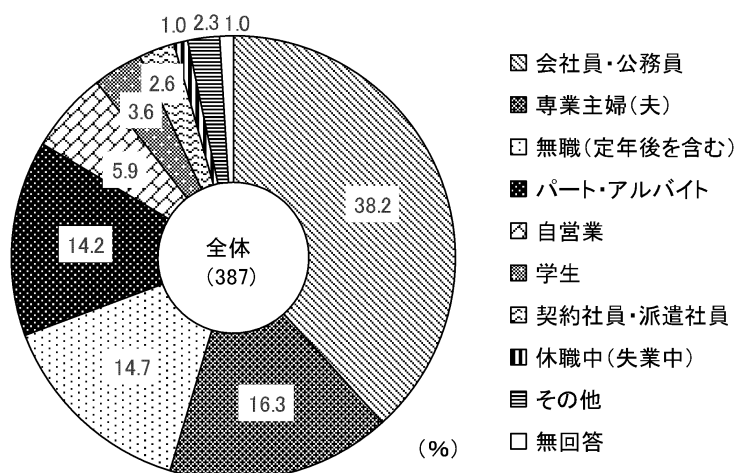
年齢は、「40～49歳」が24.3%で最も高く、次いで「70歳以上」が19.9%、「30～39歳」が19.4%となっています。



1-2 職業

質問2 あなたの職業は？＜1つに○印＞

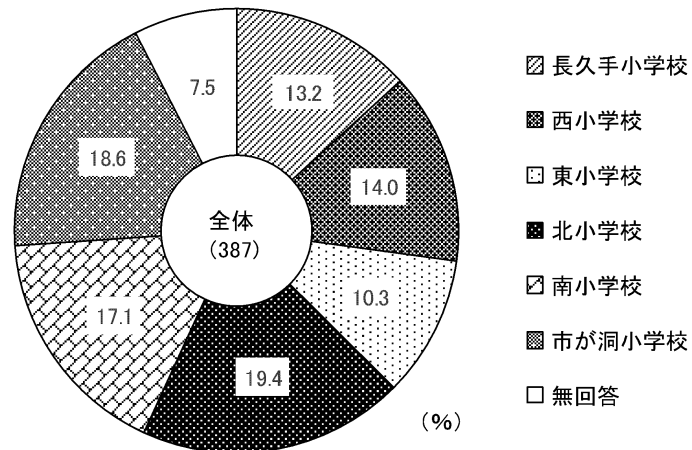
職業は、「会社員・公務員」が38.2%で最も多く、次いで「専業主婦（夫）」が16.3%、「無職（定年後を含む）」が14.7%、「パート・アルバイト」は14.2%となっています。



1-3 小学校区

質問3 あなたのお住まいの小学校区は？＜1つに○印＞

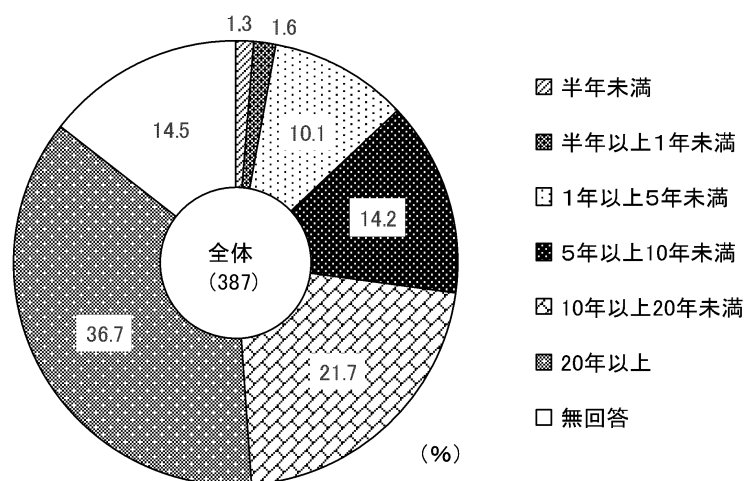
小学校区は、「北小学校」が19.4%で最も高く、次いで「市が洞小学校」が18.6%、「南小学校」が17.1%となっています。



1-4 居住年数

質問4 あなたは長久手市に住んで、通算何年になりますか？＜1つに○印＞

居住年数は、「20年以上」が36.7%で最も高く、次いで「10年以上20年未満」が21.7%、「5年以上10年未満」は14.2%となっています。



2 日常での外国人市民との関わりについて

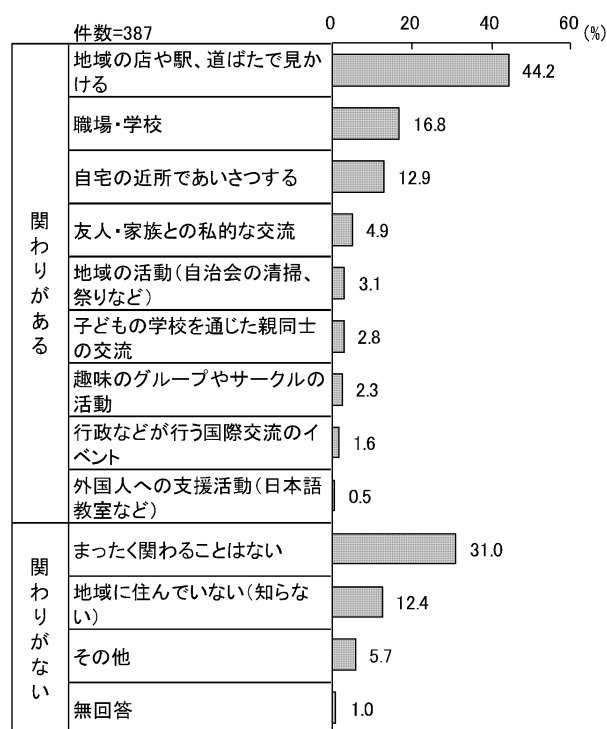
2-1 地域で外国人と関わる場面

質問5 お住まいの地域で、日ごろ外国人と関わるのはどのような場面ですか？

<あてはまるものすべてに○印>

地域で外国人と関わる場面は、「地域の店や駅、道ばたで見かける」が44.2%で最も高くなっています。その他の関わりがある場面では、「職場・学校」が16.8%、「自宅の近所であいさつをする」が12.9%となっており、外国人と日常的に関わる機会が多くなっています。

一方で「まったく関わることはない」が31.0%となっています。



年代別でみると、「地域の店や駅、道ばたで見かける」は20～29歳（53.6％）で高くなっています。また、「まったく関わることはない」は70歳以上（37.7％）で最も高くなっています。

小学校区別でみると、「自宅の近所であいさつする」は、東小学校（17.5％）と北小学校（16.0％）で高くなっています。「地域の店や駅、道ばたで見かける」は南小学校（51.5％）で高くなっています。

居住年数別でみると、それぞれの項目は年数による大きな差はみられません。

(%)	件数	で地域の店や駅、道ばた	職場・学校	自宅の近所であいさつする	友人・家族との私的な交流	地域の活動（自治会の清掃、祭りなど）	親・子どもの学校を通じた交流	趣味のグループやサークルの活動	行政などが行う国際交流のイベント	外国人への支援活動（日本語教室など）	まったく関わることはない	地域に住んでいない（知らない）	その他	無回答
全体	387	44.2	16.8	12.9	4.9	3.1	2.8	2.3	1.6	0.5	31.0	12.4	5.7	1.0
問1 年齢														
18歳・19歳	6	50.0	33.3	—	—	—	—	—	—	—	33.3	—	16.7	—
20～29歳	28	53.6	25.0	3.6	—	—	—	—	—	—	35.7	17.9	7.1	—
30～39歳	75	44.0	21.3	12.0	6.7	2.7	8.0	2.7	—	—	24.0	8.0	6.7	—
40～49歳	94	46.8	21.3	12.8	6.4	1.1	4.3	3.2	1.1	—	31.9	7.4	2.1	—
50～59歳	61	39.3	18.0	9.8	6.6	1.6	1.6	1.6	—	—	31.1	9.8	6.6	1.6
60～69歳	44	34.1	13.6	15.9	4.5	9.1	—	4.5	2.3	2.3	27.3	11.4	4.5	—
70歳以上	77	48.1	2.6	19.5	2.6	5.2	—	1.3	5.2	1.3	37.7	23.4	7.8	3.9
問3 小学校区														
長久手小学校	51	33.3	19.6	3.9	3.9	2.0	3.9	3.9	2.0	—	37.3	13.7	5.9	—
西小学校	54	53.7	16.7	13.0	5.6	3.7	3.7	3.7	—	—	22.2	13.0	3.7	1.9
東小学校	40	37.5	15.0	17.5	7.5	10.0	—	2.5	2.5	—	32.5	10.0	5.0	5.0
北小学校	75	46.7	13.3	16.0	5.3	1.3	4.0	2.7	1.3	1.3	32.0	9.3	2.7	1.3
南小学校	66	51.5	12.1	10.6	4.5	1.5	4.5	3.0	1.5	1.5	30.3	13.6	6.1	—
市が洞小学校	72	36.1	19.4	12.5	5.6	4.2	1.4	—	2.8	—	34.7	12.5	11.1	—
問4 居住年数														
半年未満	5	60.0	40.0	20.0	—	—	—	—	—	—	40.0	—	—	—
半年以上1年未満	6	66.7	—	33.3	—	—	—	—	—	—	16.7	—	—	—
1年以上5年未満	39	48.7	30.8	12.8	7.7	—	2.6	2.6	2.6	—	20.5	—	—	—
5年以上10年未満	55	45.5	27.3	16.4	7.3	3.6	7.3	—	1.8	—	25.5	—	9.1	—
10年以上20年未満	84	50.0	19.0	10.7	2.4	—	6.0	2.4	—	—	29.8	—	2.4	1.2
20年以上	142	43.7	12.0	16.2	6.3	7.0	0.7	4.2	2.1	1.4	29.6	—	10.6	2.1

2-2 親しい外国人との付き合い

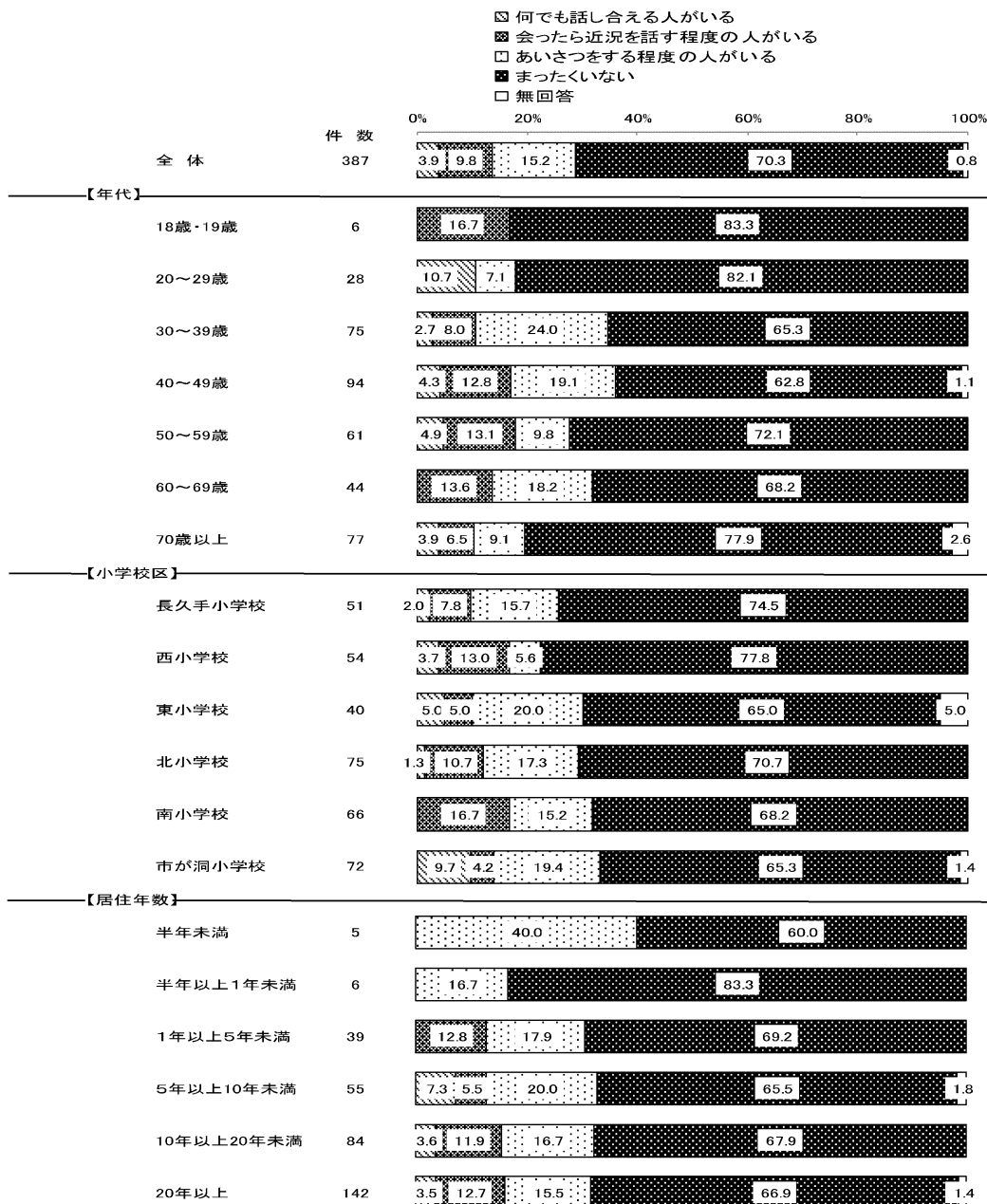
質問6 あなたには、親しい外国人がいますか？＜1つに○印＞

親しい外国人との付き合いは、「あいさつする程度の人がいる」が15.2%で最も高く、次いで「会ったら近況を話す程度の人がいる」が9.8%、「何でも話し合える人がある」が3.9%となっています。一方、「まったくいない」が70.3%で7割を占めています。

年代別でみると、「あいさつする程度の人がある」は30～39歳（24.0%）で2割以上となっています。一方、「まったくいない」は18歳・19歳（83.3%）、20～29歳（82.1%）で8割以上、50～59歳（72.1%）、70歳以上（77.9%）で7割以上となっています。

小学校区別でみると、「あいさつをする程度の人がある」は東小学校（20.0%）、北小学校（17.3%）、市が洞小学校（19.4%）でやや高くなっています。

居住年数別でみると、親しい外国人が「いる」と「まったくいない」の割合は1年以上5年未満以降ではあまり変化がみられません。



2-3 地域に外国人が増えることについて

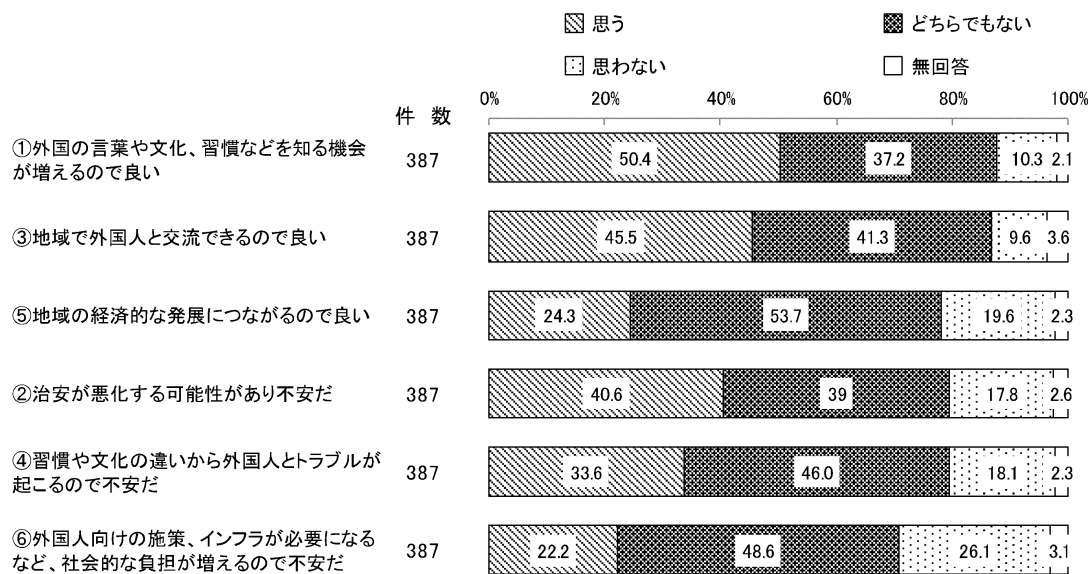
質問7 あなたは、地域に外国人が増えていくことをどう思いますか？

<各項目であてはまるものに○印>

地域に外国人が増えることについては、「①外国の言葉や文化、習慣などを知る機会が増えるので良い」「③地域で外国人と交流できるので良い」は「思う」がそれぞれ50.4%と45.5%となっており、肯定的な意見がおおよそ半数を占めています。

「②治安が悪化する可能性があり不安だ」「④習慣や文化の違いから外国人とトラブルが起こるので不安だ」は、ともに「思う」が「思わない」を上回っています。

「⑤地域の経済的な発展につながるので良い」「⑥外国人向けの施策、インフラが必要になるなど、社会的な負担が増えるので不安だ」は「どちらでもない」がそれぞれ53.7%と48.6%で5割近くとなっています。



地域に外国人が増えることについて親しい外国人との付き合いの回答別にみると、①③⑤の良い影響を与える項目については付き合いが深い人ほど「思う」と答える割合が増えています。

一方で、②④⑥の懸念や不安を示す項目については、外国人との付き合いに関係なく「思う」「どちらでもない」と答えた割合は高くなっています。「⑥外国人向けの施策、インフラが必要になるなど、社会的な負担が増えるので不安だ」のみは、付き合いが深い人ほど「思わない」の割合が高くなっています。

「②治安が悪化する可能性があり不安だ」では、会ったら近況を話す程度の人がいるの「思う」の回答が（26.3%）やや低くなっていますが、それ以外では「思う」が4割以上となっています。

「④習慣や文化の違いから外国人とトラブルが起こるので不安だ」では何でも話し合える人があるの「思う」が26.7%、会ったら近況を話す程度の人があるの「思う」が28.9%でやや低くなっています。

①外国の言葉や文化、習慣などを知る機会が増えるので良い

	件数	思う	どちらでもない	思わない	無回答
(%)					
全 体	387	50.4	37.2	10.3	2.1
問6 親しい外国人との付き合い					
何でも話し合える人がある	15	93.3	6.7	-	-
会ったら近況を話す程度の人がある	38	73.7	23.7	2.6	-
あいさつをする程度の人がある	59	45.8	40.7	13.6	-
まったくいない	272	46.0	40.4	11.4	2.2

②治安が悪化する可能性があり不安だ

	件数	思う	どちらでもない	思わない	無回答
(%)					
全 体	387	40.6	39.0	17.8	2.6
問6 親しい外国人との付き合い					
何でも話し合える人がある	15	40.0	46.7	13.3	-
会ったら近況を話す程度の人がある	38	26.3	47.4	26.3	-
あいさつをする程度の人がある	59	40.7	49.2	8.5	1.7
まったくいない	272	43.0	35.3	19.1	2.6

③地域で外国人と交流できるので良い

	件数	思う	どちらでもない	思わない	無回答
(%)					
全 体	387	45.5	41.3	9.6	3.6
問6 親しい外国人との付き合い					
何でも話し合える人がある	15	73.3	20.0	6.7	-
会ったら近況を話す程度の人がある	38	57.9	42.1	-	-
あいさつをする程度の人がある	59	54.2	33.9	10.2	1.7
まったくいない	272	40.4	44.5	11.0	4.0

④習慣や文化の違いから外国人とトラブルが起こるので不安だ

	件数	思う	どちらでもない	思わない	無回答
(%)					
全 体	387	33.6	46.0	18.1	2.3
問6 親しい外国人との付き合い					
何でも話し合える人がある	15	26.7	46.7	26.7	-
会ったら近況を話す程度の人がある	38	28.9	36.8	34.2	-
あいさつをする程度の人がある	59	42.4	37.3	18.6	1.7
まったくいない	272	33.1	49.3	15.4	2.2

⑤地域の経済的な発展につながるので良い

	件数	思う	どちらでもない	思わない	無回答
(%)					
全 体	387	24.3	53.7	19.6	2.3
問6 親しい外国人との付き合い					
何でも話し合える人がある	15	40.0	33.3	26.7	-
会ったら近況を話す程度の人がある	38	28.9	60.5	10.5	-
あいさつをする程度の人がある	59	28.8	50.8	18.6	1.7
まったくいない	272	22.1	54.8	21.0	2.2

⑥外国人向けの施策、インフラが必要になるなど、社会的な負担が増えるので不安だ

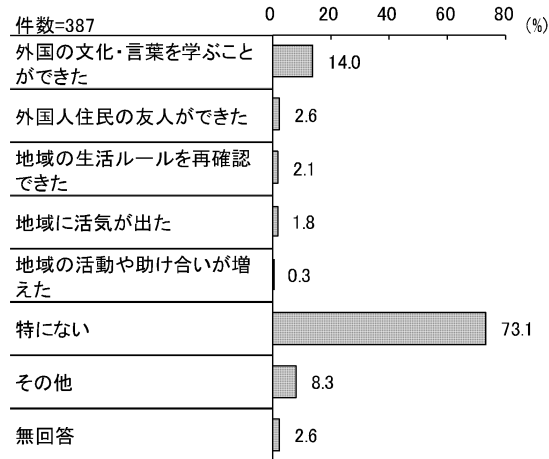
	件数	思う	どちらでもない	思わない	無回答
(%)					
全 体	387	22.2	48.6	26.1	3.1
問6 親しい外国人との付き合い					
何でも話し合える人がある	15	6.7	33.3	60.0	-
会ったら近況を話す程度の人がある	38	13.2	47.4	39.5	-
あいさつをする程度の人がある	59	23.7	47.5	27.1	1.7
まったくいない	272	24.3	50.0	22.4	3.3

2-4 外国人が近所に住んでいて、良かったと思うこと

質問8 外国人が近所に住んでいて、良かったと思うことはありますか？

＜あてはまるものすべてに○印＞

外国人が近所に住んでいて、良かったと思うことは、「外国の文化・言葉を学ぶことができた」が14.0%で1割以上となっています。一方、「特にない」が73.1%で最も高くなっています。



年代別でみると、「外国の文化・言葉を学ぶことができた」は若い年代ほど回答割合が高くなっています。また、「特にない」は60～69歳（81.8%）で最も高くなっています。

小学校区別でみると、「外国の文化・言葉を学ぶことができた」は市が洞小学校（20.8%）で最も高くなっています。

居住年数別でみると、「特にない」は年数に関わりなく全体的に高くなっています。

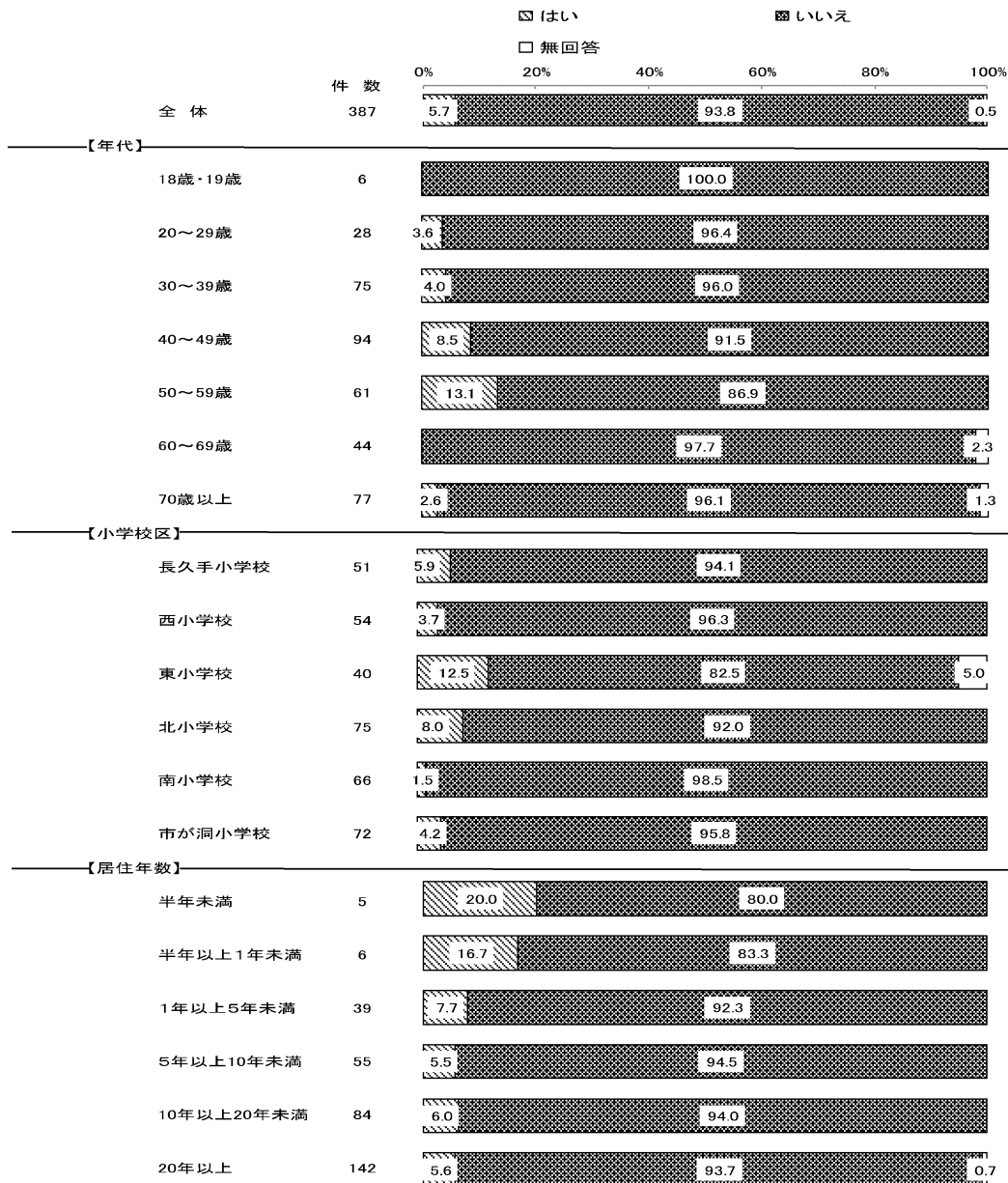
	件数	外国の文化・言葉を学ぶことができた	外国人住民の友人ができた	地域の生活ルールを再確認できた	地域に活気が出た	地域の活動や助け合いが増えた	特にない	その他	無回答
(%)									
全 体	387	14.0	2.6	2.1	1.8	0.3	73.1	8.3	2.6
問1 年齢									
18歳・19歳	6	33.3	-	-	16.7	-	33.3	16.7	-
20～29歳	28	17.9	-	-	3.6	-	67.9	7.1	7.1
30～39歳	75	16.0	1.3	1.3	1.3	-	77.3	4.0	1.3
40～49歳	94	14.9	6.4	2.1	-	-	73.4	8.5	-
50～59歳	61	13.1	-	1.6	-	-	77.0	6.6	3.3
60～69歳	44	11.4	-	4.5	-	2.3	81.8	4.5	-
70歳以上	77	10.4	3.9	2.6	5.2	-	64.9	15.6	6.5
問3 小学校区									
長久手小学校	51	13.7	3.9	2.0	-	-	72.5	7.8	3.9
西小学校	54	18.5	1.9	-	-	-	68.5	9.3	3.7
東小学校	40	10.0	2.5	-	2.5	2.5	72.5	15.0	2.5
北小学校	75	13.3	2.7	2.7	2.7	-	77.3	6.7	1.3
南小学校	66	10.6	1.5	6.1	3.0	-	75.8	4.5	3.0
市が洞小学校	72	20.8	4.2	-	2.8	-	63.9	11.1	2.8
問4 居住年数									
半年未満	5	20.0	-	-	-	-	80.0	-	-
半年以上1年未満	6	16.7	-	-	-	-	83.3	-	-
1年以上5年未満	39	10.3	-	5.1	-	-	82.1	-	2.6
5年以上10年未満	55	12.7	3.6	1.8	-	-	80.0	5.5	-
10年以上20年未満	84	17.9	6.0	2.4	1.2	-	70.2	7.1	-
20年以上	142	16.2	1.4	2.1	3.5	0.7	70.4	9.2	2.8

2-5 外国人とのトラブルの体験

質問9 あなたは、日常生活で外国人との間でトラブルを体験したことがありますか？

<1つに○印>

外国人とのトラブルの体験は、「はい」が5.7%、「いいえ」が93.8%となっています。
年代別でみると、「はい」は50～59歳（13.1%）で最も高くなっています。
小学校区別でみると、「はい」は東小学校（12.5%）で最も高くなっています。
居住年数別でみると、大きな差はみられません。



質問9で「はい」と答えた方は、具体的なトラブルの内容をお書きください。

日本人住民が体験したトラブルの例

- ごみ捨てのマナーが悪い。
- 大きな音で音楽を聴いたり、騒いでいてうるさい。
- 日常生活の中で、こちらの要望が伝わらなかったり、伝える側に外国語がわからないなどの理由があり、お互い理解できないまま終わってしまう。
- 困っているのかと声を掛けたら、怒鳴り返されてしまった。
- 列に並んで順番を守る、公共の場所で大声を出したり騒いだりしない、など生活のルールやマナーが守られていない。
- つきまとい行為を受けた。
- 自動車事故でトラブルに巻き込まれた。

2-6 家族や友人等から外国人とのトラブルを聞いた経験

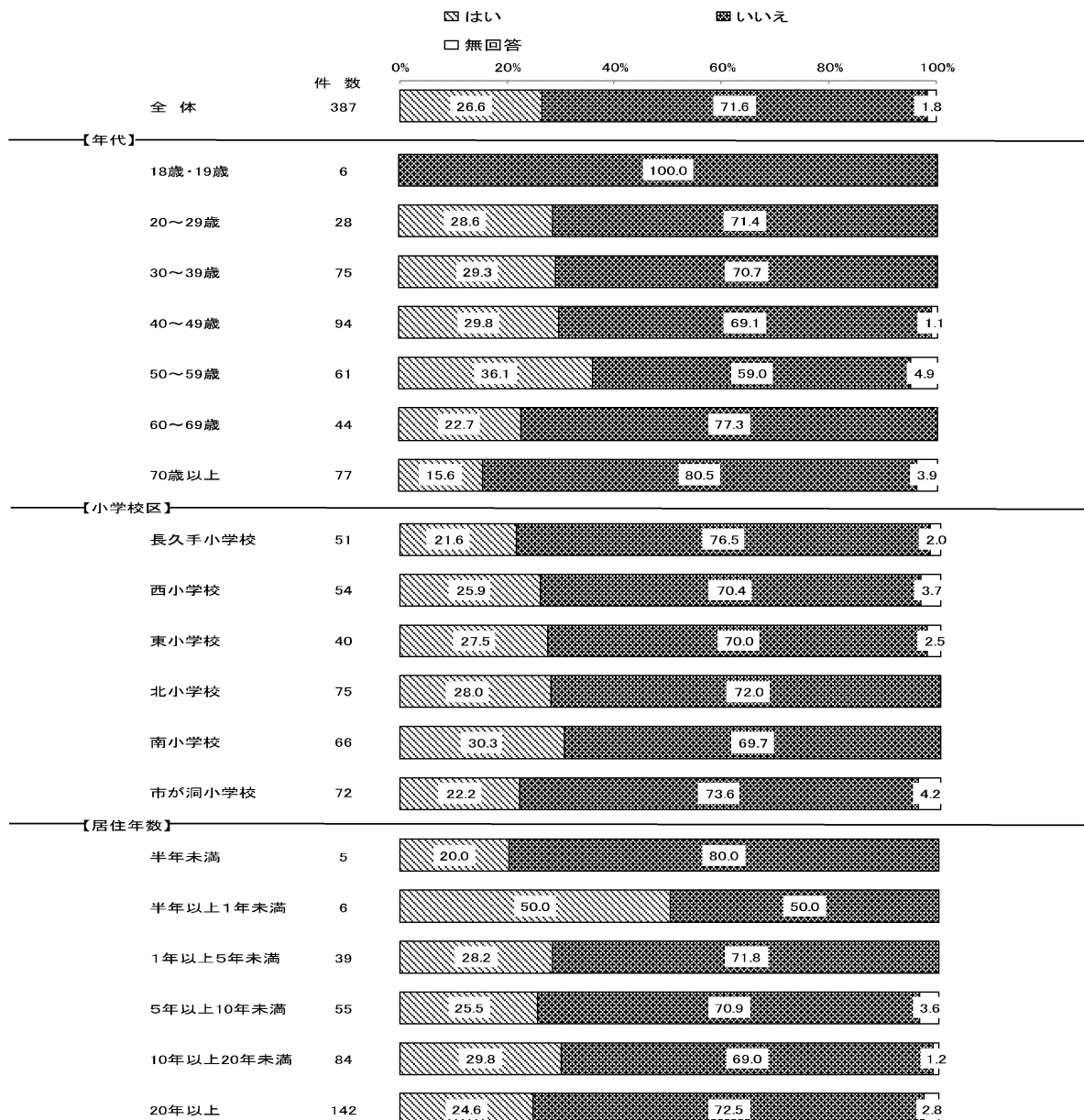
質問10 あなたは、ご自分以外（家族や友人、マスコミ等のメディアなど）から外国人とのトラブルについて聞いたことがありますか？＜1つに○印＞

家族や友人等から外国人とのトラブルを聞いた経験は、「はい」が26.5%、「いいえ」が71.6%となっています。

年代別でみると、「はい」は50～59歳（36.1%）で3割以上となっています。

小学校区別でみると、「はい」は南小学校（30.3%）で最も高くなっています。

居住年数別でみると、「はい」は半年以上1年未満を除いて全体で3割未満となっています。



質問10で「はい」と答えた方は、具体的なトラブルの内容をお書きください。

日本人住民が見聞きしたトラブルの例

- 列に並んで順番を守る、公共の場所で大声を出したり騒いだりしない、集合住宅での生活騒音や料理の匂いなど生活のルールやマナーが守られていない。
- 言葉がわからないことによる誤解で人間関係が悪くなる。
- 習慣の違いや、宗教の関係で、相手が悪気なく周り（日本人）に不快感を与えてしまう。
- 地域や学校の行事に参加しない。
- 窃盗や詐欺などの犯罪。交通事故や落書き行為、器物破損等。

3 今後の外国人市民との関わりについて

3-1 地域での外国人との関わり

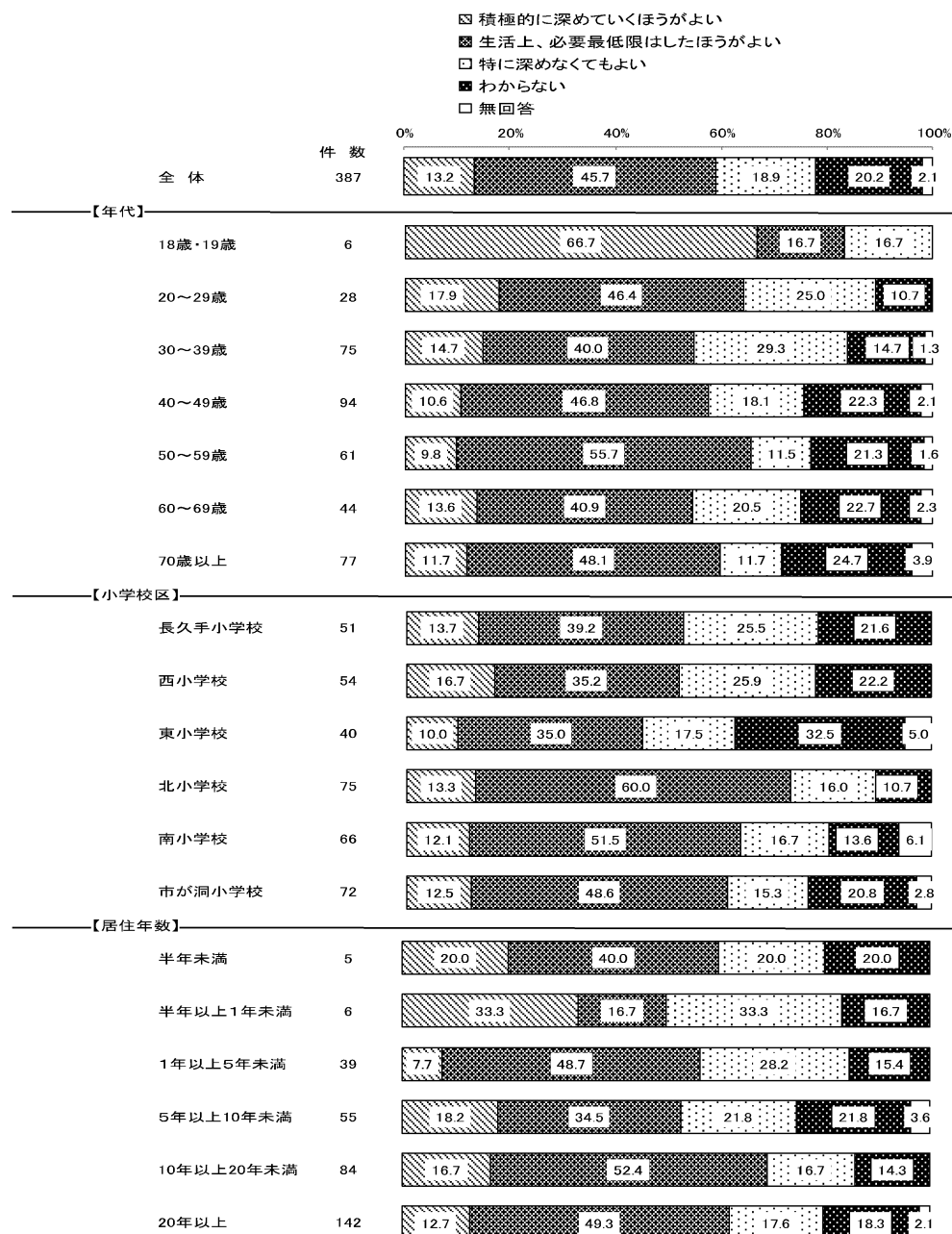
質問11 お住まいの地域で、外国人との関わりは深めるべきだと思いますか？＜1つに○印＞

地域での外国人との関わりは、「生活上、必要最低限はしたほうがよい」が45.7%、「積極的に深めていくほうがよい」が13.2%となっています。一方、「特に深めなくてもよい」が18.9%、「わからない」が20.2%となっています。

年代別でみると、「生活上、必要最低限はしたほうがよい」は50～59歳（55.7%）で高くなっていますが、他の年代では約4割となっています。

小学校区別でみると、「生活上、必要最低限はしたほうがよい」は北小学校（60.0%）で6割以上となっています。

居住年数別でみると、「特に深めなくてもよい」は年数が増えるごとにやや低くなっていく傾向にあります。



3-2 外国人との関わり方

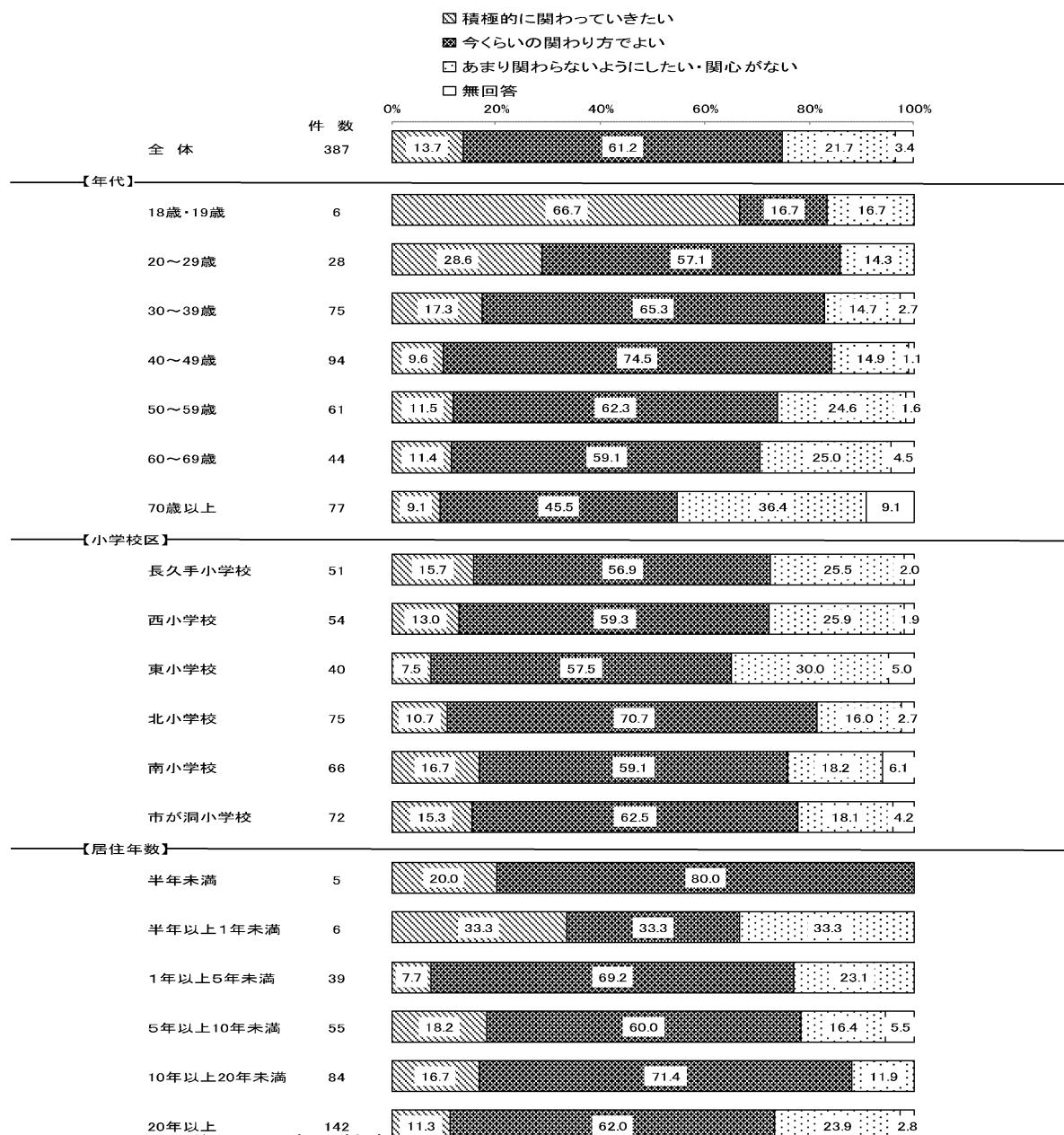
質問12 あなたは、外国人とこれからどのように関わっていきたいですか？＜1つに○印＞

外国人との関わり方は、「今くらいの関わり方でよい」が61.2%、「積極的に関わっていきたい」が13.7%となっています。一方、「あまり関わらないようにしたい・関心がない」が21.7%となっています。

年代別でみると、「今くらいの関わり方でよい」は年代が上がるにつれて低くなっています。一方で「あまり関わらないようにしたい・関心がない」は年代が上がるにつれて高くなっています。

小学校区別でみると、「今くらいの関わり方でよい」は北小学校（70.7%）で高くなっています。

居住年数別でみると、「今くらいの関わり方でよい」は全体として6割から7割の回答となっています。

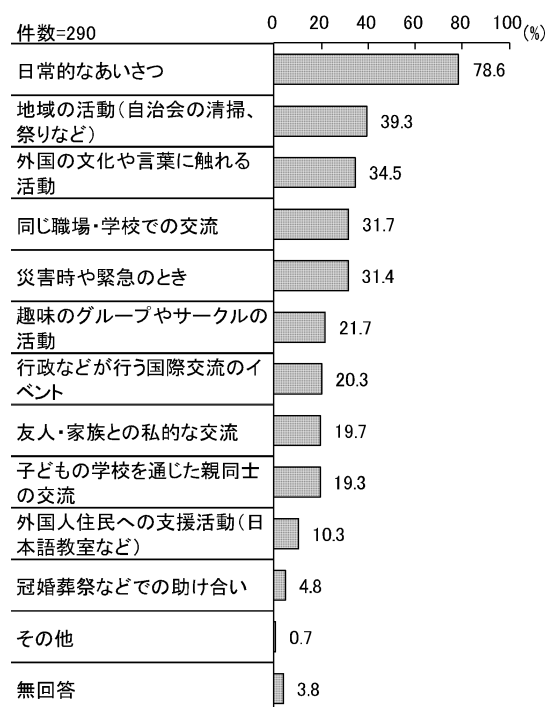


3-3 外国人住民と関わる機会

質問13 質問12で「1」または「2」と回答した方は、質問13をお答え下さい。

どのような機会を通して外国人住民と関わりたいですか？＜あてはまるものすべてに○印＞

外国人住民と関わる機会は、「日常的なあいさつ」が78.6%で最も高く、次いで「地域の活動（自治会の清掃、祭りなど）」が39.3%、「外国の文化や言葉に触れる活動」が34.5%、「同じ職場・学校での交流」が31.7%、「災害時や緊急のとき」が31.4%となっています。



年代別でみると、「子どもの学校を通じた親同士の交流」は30～39歳（33.9%）で高くなっています。

小学校区別でみると、「地域の活動（自治会の清掃、祭りなど）」は東小学校（50.0%）、「災害時や緊急のとき」は東小学校（46.2%）、「友人・家族との私的な交流」は市が洞小学校（30.4%）、「外国の文化や言葉に触れる活動」は市が洞小学校（51.8%）で高くなっています。

居住年数別でみると、「子どもの学校を通じた親同士の交流」は5年以上10年未満（44.2%）で高くなっています。また、「外国の文化や言葉に触れる活動」は5年以上10年未満（41.9%）、10年以上20年未満（47.3%）で4割以上となっています。

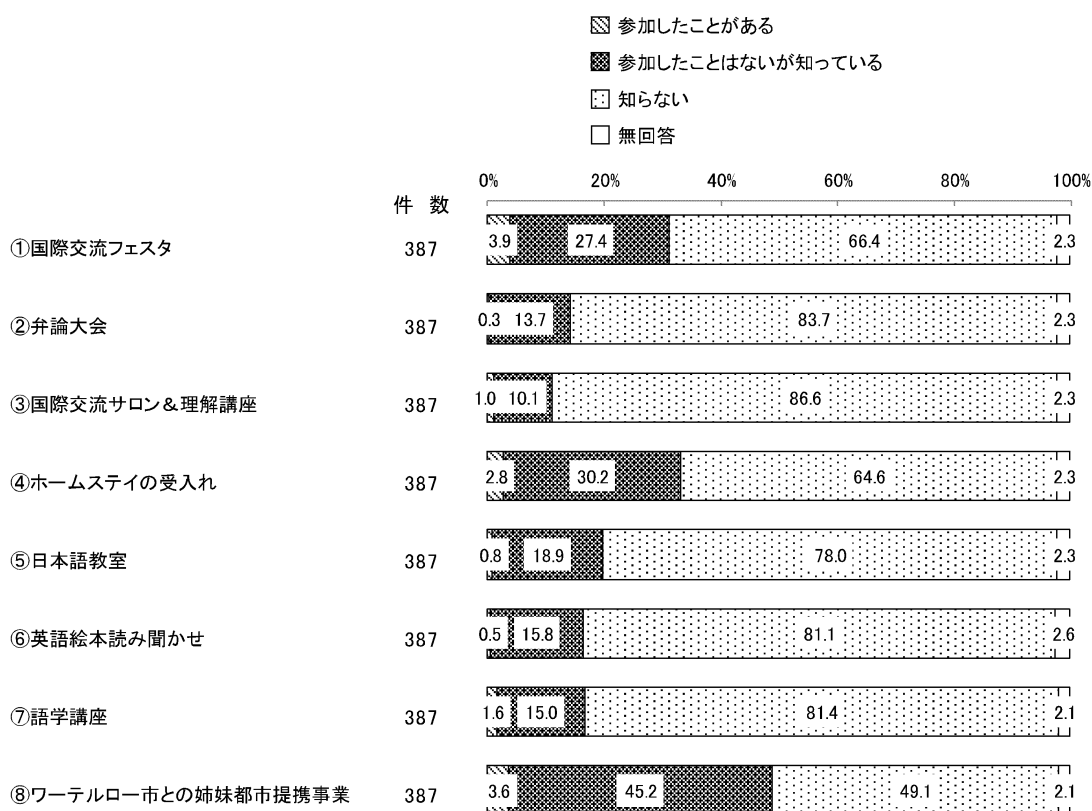
(%)	件数	日常的なあいさつ	地域の活動（自治会の清掃、祭りなど）	外国の文化や言葉に触れる活動	同じ職場・学校での交流	災害時や緊急のとき	趣味のグループやサークルの活動	行政などが行う国際交流イベント	友人・家族との私的な交流	子どもとの学校を通じた交流	外国人住民への支援活動（日本語教室など）	冠婚葬祭などの助け合い	その他	無回答
全 体	290	78.6	39.3	34.5	31.7	31.4	21.7	20.3	19.7	19.3	10.3	4.8	0.7	3.8
問1 年齢														
18歳・19歳	5	80.0	40.0	60.0	60.0	40.0	-	-	40.0	-	20.0	20.0	-	-
20～29歳	24	87.5	29.2	41.7	41.7	8.3	20.8	12.5	20.8	4.2	4.2	-	4.2	4.2
30～39歳	62	74.2	30.6	37.1	37.1	22.6	22.6	22.6	21.0	33.9	4.8	6.5	-	3.2
40～49歳	79	82.3	43.0	36.7	46.8	36.7	21.5	21.5	20.3	29.1	10.1	5.1	-	5.1
50～59歳	45	73.3	42.2	33.3	22.2	37.8	26.7	20.0	20.0	13.3	11.1	4.4	-	4.4
60～69歳	31	74.2	41.9	29.0	16.1	38.7	19.4	19.4	9.7	-	12.9	-	3.2	3.2
70歳以上	42	81.0	42.9	26.2	4.8	33.3	21.4	23.8	19.0	9.5	19.0	7.1	-	2.4
問3 小学校区														
長久手小学校	37	75.7	29.7	21.6	40.5	27.0	24.3	18.9	21.6	32.4	-	-	2.7	5.4
西小学校	39	79.5	43.6	25.6	30.8	30.8	17.9	15.4	15.4	17.9	-	2.6	-	5.1
東小学校	26	76.9	50.0	26.9	38.5	46.2	15.4	23.1	11.5	7.7	7.7	11.5	-	-
北小学校	61	73.8	37.7	31.1	16.4	31.1	26.2	11.5	14.8	14.8	14.8	4.9	-	6.6
南小学校	50	88.0	40.0	40.0	40.0	38.0	16.0	26.0	20.0	18.0	20.0	6.0	-	-
市が洞小学校	56	80.4	42.9	51.8	30.4	26.8	26.8	28.6	30.4	26.8	14.3	7.1	1.8	1.8
問4 居住年数														
半年未満	5	80.0	20.0	40.0	-	-	20.0	40.0	-	20.0	-	-	-	-
半年以上1年未満	4	75.0	75.0	50.0	25.0	25.0	25.0	100.0	25.0	-	-	-	-	-
1年以上5年未満	30	83.3	16.7	23.3	53.3	20.0	20.0	13.3	13.3	23.3	3.3	3.3	-	3.3
5年以上10年未満	43	79.1	41.9	41.9	37.2	20.9	20.9	25.6	18.6	44.2	9.3	4.7	-	4.7
10年以上20年未満	74	74.3	39.2	47.3	37.8	33.8	17.6	14.9	23.0	23.0	12.2	5.4	-	4.1
20年以上	104	78.8	40.4	24.0	18.3	35.6	23.1	18.3	16.3	3.8	12.5	3.8	1.9	3.8

4 長久手市の国際交流・多文化共生施策について

4-1 国際交流や多文化共生に関する取組の認知度

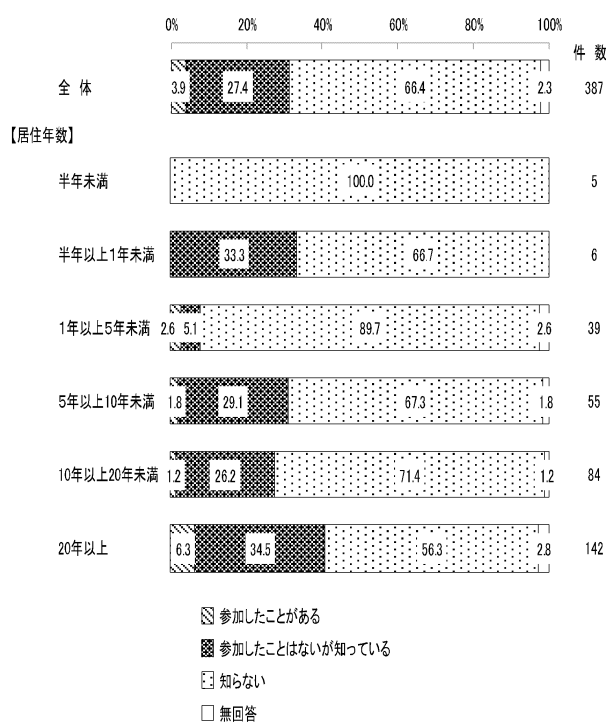
質問14 長久手市や長久手市国際交流協会が実施している、国際交流や多文化共生に関する次の取組を知っていますか？＜それぞれの項目（取組）ごとに1つずつ○印＞

国際交流や多文化共生に関する取組の認知度は、「参加したことはないが知っている」は「ワートルロー市との姉妹都市提携事業」（45.2%）で最も高くなっています。「①国際交流フェスタ」（27.4%）、「④ホームステイの受入れ」（30.2%）の市民参加が可能な取組は他と比較して認知度が高くなっています。一方、「②弁論大会」（83.7%）、「③国際交流サロン&理解講座」（86.6%）、「英語絵本読み聞かせ」（81.1%）の参加者が限られているものおよび外国人向けの取組は「知らない」が8割以上となっています。

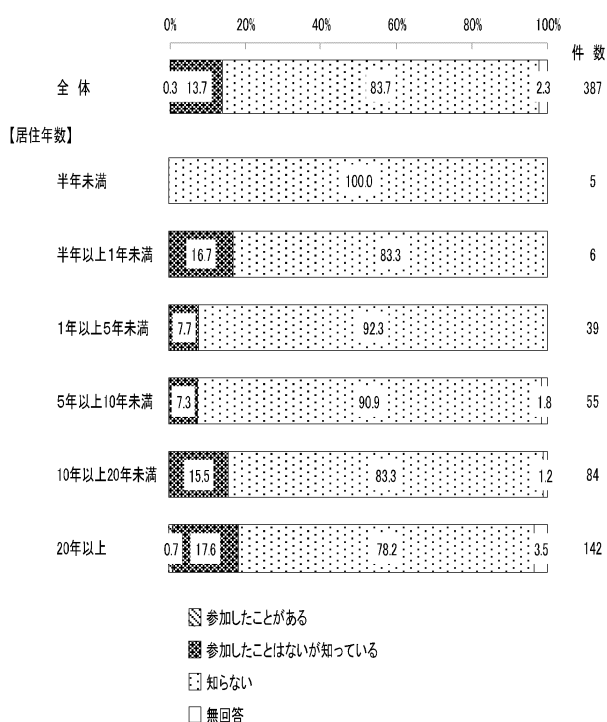


居住年数別でみると、①国際交流フェスタは「参加したことはないが知っている」が20年以上（34.5%）で3割以上となっています。また、④ホームステイの受入れは「参加したことはないが知っている」が半年以上の居住で年々認知度が高くなっています。⑧ワートルロー市との姉妹都市提携事業は「参加したことはないが知っている」が1年以上の居住で年々認知度が高くなっています。

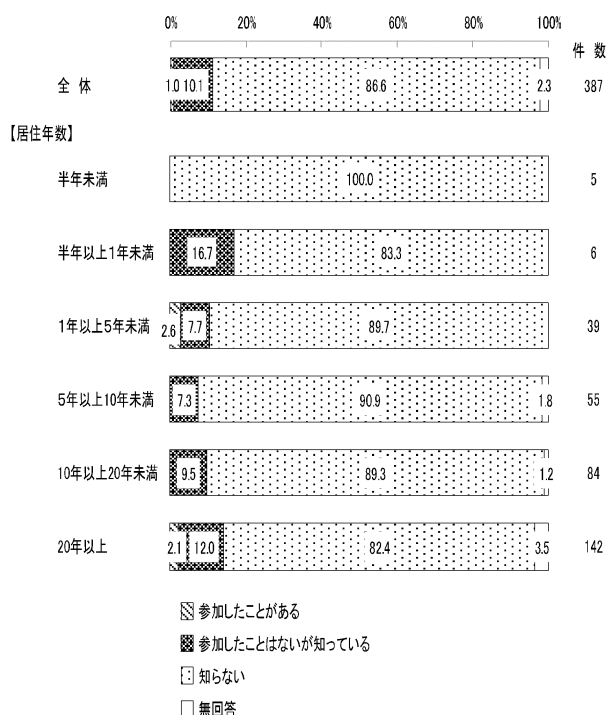
①国際交流フェスタ



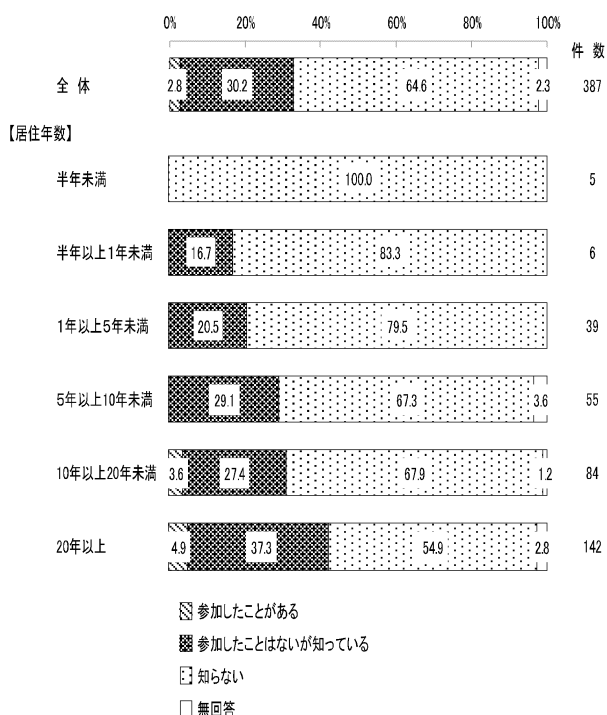
②弁論大会



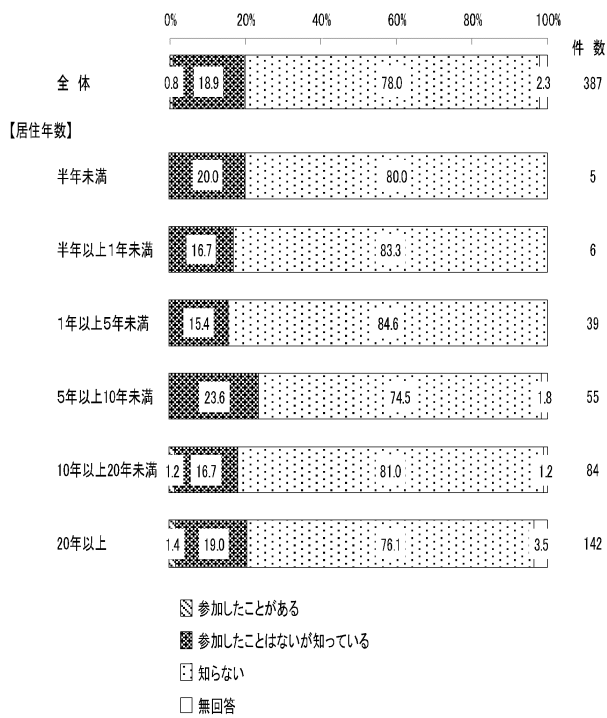
③国際交流サロン&理解講座



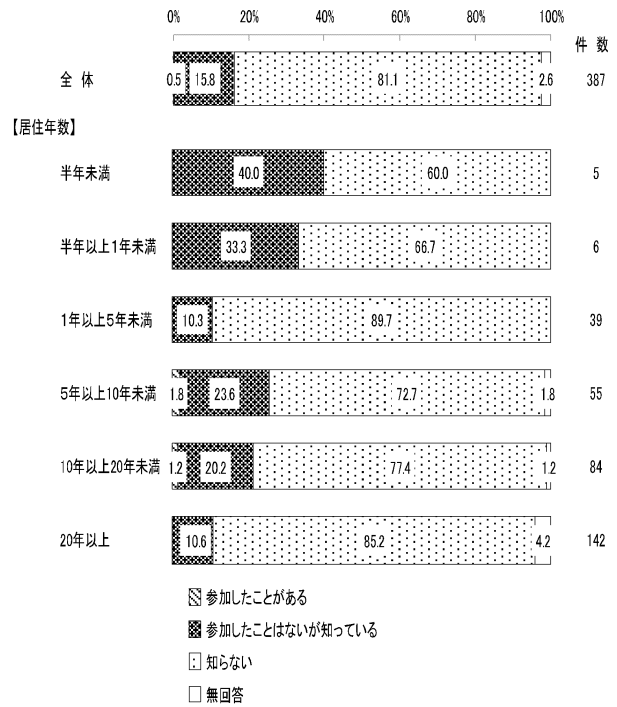
④ホームステイの受入れ



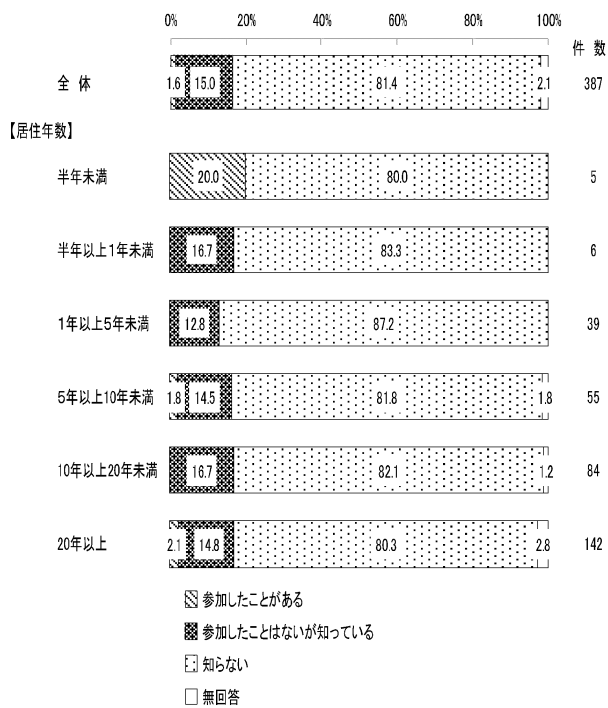
⑤日本語教室



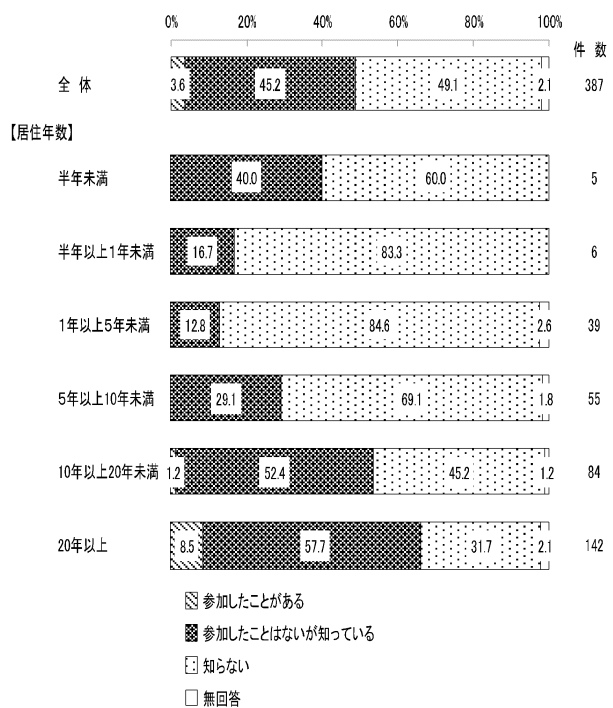
⑥英語絵本読み聞かせ



⑦語学講座



⑧ワーテルロー市との姉妹都市提携事業



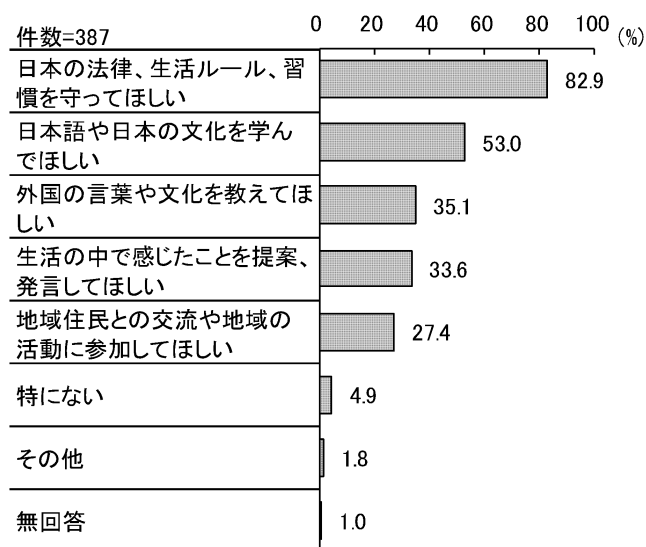
5 多文化共生の地域づくりについて

5-1 地域に住む外国人に期待すること

質問15 日本人と外国人がともに安心して暮らせる社会にするため、あなたは、地域に住む外国人にどのようなことを期待しますか？〈あてはまるものすべてに○印〉

地域に住む外国人に期待することは、「日本の法律、生活ルール、習慣を守ってほしい」が82.9%で最も高く、次いで「日本語や日本の文化を学んでほしい」が53.0%、「外国の言葉や文化を教えてほしい」が35.1%、「生活の中で感じたことを提案、発言してほしい」が33.6%となっています。

一方で、「地域住民との交流や地域の活動に参加してほしい」は27.4%と最も低くなっており、地域への参加に期待する意見は少なくなっています。



年代別でみると、「日本語や日本の文化を学んでほしい」は50～59歳（65.6%）、「地域住民との交流や地域の活動に参加してほしい」は70歳以上（41.6%）、「外国の言葉や文化を教えてほしい」は40～49歳（45.7%）で高くなっています。

小学校区別でみると、「地域住民との交流や地域の活動に参加してほしい」は東小学校（42.5%）、「外国の言葉や文化を教えてほしい」は東小学校（45.0%）、「生活の中で感じたことを提案、発言してほしい」は市が洞小学校（43.1%）で高くなっています。

居住年数別でみると、「地域住民との交流や地域の活動に参加してほしい」は年数が増えるにつれて高くなっています。

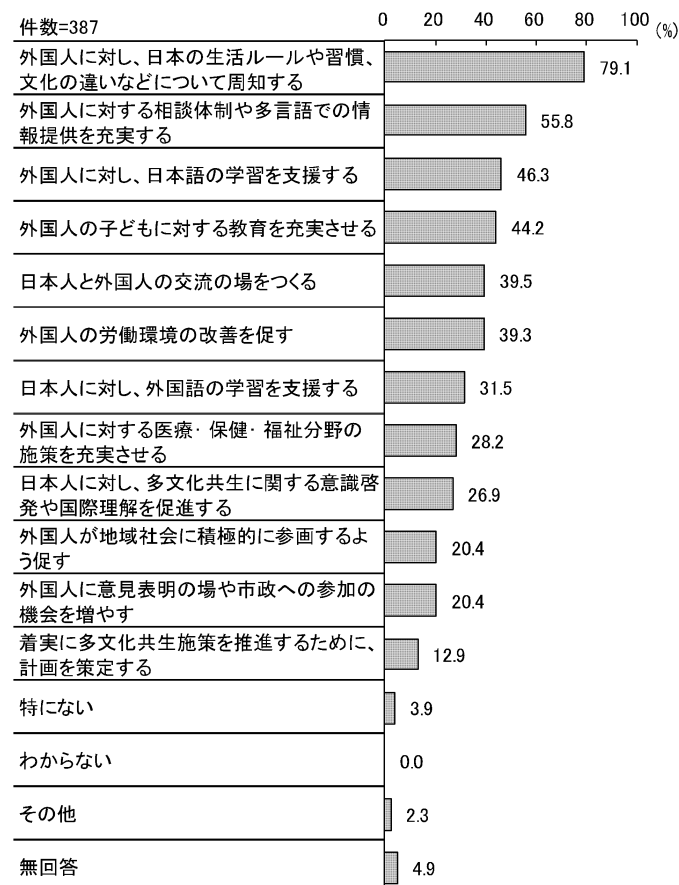
	件数	い ル 日 本 の 法 律 を 守 っ て 活 ほ し い	学 日 本 で 語 ほ し い 日 本 の 文 化 を	え 外 国 の 言 葉 や 文 化 を 教	い を 生 活 の 中 で 感 じ た ほ し い	し 域 の 活 動 に 参 加 し て ほ し い	特 に な い	そ の 他	無 回 答
(%)									
全 体	387	82.9	53.0	35.1	33.6	27.4	4.9	1.8	1.0
問1 年齢									
18歳・19歳	6	66.7	66.7	66.7	83.3	33.3	—	—	—
20～29歳	28	75.0	32.1	46.4	17.9	—	3.6	3.6	—
30～39歳	75	81.3	45.3	41.3	33.3	21.3	5.3	—	—
40～49歳	94	87.2	54.3	45.7	37.2	29.8	2.1	—	1.1
50～59歳	61	90.2	65.6	26.2	37.7	23.0	1.6	4.9	1.6
60～69歳	44	81.8	50.0	9.1	18.2	31.8	2.3	2.3	4.5
70歳以上	77	77.9	55.8	32.5	37.7	41.6	13.0	2.6	—
問3 小学校区									
長久手小学校	51	82.4	51.0	29.4	33.3	25.5	5.9	2.0	—
西小学校	54	77.8	51.9	38.9	29.6	27.8	1.9	—	1.9
東小学校	40	77.5	55.0	45.0	30.0	42.5	10.0	5.0	—
北小学校	75	88.0	58.7	32.0	36.0	33.3	5.3	1.3	—
南小学校	66	84.8	53.0	33.3	34.8	21.2	3.0	3.0	1.5
市が洞小学校	72	81.9	45.8	40.3	43.1	27.8	2.8	1.4	2.8
問4 居住年数									
半年未満	5	80.0	80.0	40.0	—	40.0	—	—	—
半年以上1年未満	6	83.3	16.7	50.0	—	—	16.7	—	—
1年以上5年未満	39	87.2	41.0	41.0	35.9	7.7	—	—	—
5年以上10年未満	55	80.0	43.6	34.5	34.5	25.5	7.3	1.8	1.8
10年以上20年未満	84	85.7	63.1	41.7	39.3	28.6	1.2	—	1.2
20年以上	142	84.5	54.2	31.7	32.4	33.1	5.6	3.5	0.7

5-2 日本人と外国人が安心して暮らせるために力を入れるべき取組

質問16 日本人と外国人がともに安心して暮らせる社会にするため、あなたは、どのような取組に力を入れるべきだと思いますか？〈あてはまるものすべてに○印〉

日本人と外国人が安心して暮らせるために力を入れるべき取組は、「外国人に対し、日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどについて周知する」が79.1%で最も高くなっています。

次いで「外国人に対する相談体制や多言語での情報提供を充実する」が55.8%、「外国人に対し、日本語の学習を支援する」が46.3%、「外国人の子どもに対する教育を充実させる」が44.2%となっており、外国人市民の生活のために支援が必要という意見が多くなっています。



年代別でみると、「日本人に対し、外国語の学習を支援する」は20～29歳（57.1%）で高くなっていますが、年代が上がるにつれて低くなっています。

小学校区別でみると、「日本人と外国人の交流の場をつくる」は南小学校（51.5%）、「日本人に対し、多文化共生に関する意識啓発や国際理解を促進する」は南小学校（39.4%）、「外国人が地域社会に積極的に参画するよう促す」は東小学校（30.0%）、「日本人に対し、外国語の学習を支援する」は東小学校（50.0%）で高くなっています。

居住年数別でみると、それぞれの項目は年数による大きな差はみられません。

(%)	件数	外国人に対する習慣・文化の違いなどについて周知する	外国情報提供を充実する	外国人に対する相談体制や多言語での情報提供を充実する	外国人に対し、日本語の学習を支援する	外国人の子どもに対する教育を充実させる	日本人と外国人の交流の場をつくる	外国人の労働環境の改善を促す	日本人に対し、外国語の学習を支援する	外国人に対する医療・保健・福祉分野の施策を充実させる	日本人に対し、外国語の学習を支援する	日本人に対し、多文化共生に関する意識啓発や国際理解を促進する	外国人が地域社会に積極的に参画するよう促す	外国人に意見表明の場や市政への参加の機会を増やす	外国人に多文化共生施策を推進するために、計画を策定する	特になし	わからない	その他	無回答
全 体	387	79.1	55.8	46.3	44.2	39.5	39.3	31.5	28.2	26.9	20.4	20.4	12.9	3.9	-		2.3	4.9	
問1 年齢																			
18歳・19歳	6	100.0	66.7	66.7	66.7	83.3	66.7	33.3	66.7	50.0	16.7	50.0	50.0	-	-	-	-	-	
20～29歳	28	78.6	60.7	39.3	25.0	32.1	39.3	57.1	28.6	32.1	10.7	7.1	7.1	-	-	-	3.6	3.6	
30～39歳	75	77.3	53.3	49.3	49.3	46.7	45.3	38.7	24.0	30.7	20.0	21.3	8.0	4.0	-	-	4.0	4.0	
40～49歳	94	84.0	67.0	51.1	51.1	41.5	38.3	40.4	33.0	31.9	21.3	25.5	14.9	2.1	-	-	2.1	1.1	
50～59歳	61	77.0	62.3	37.7	36.1	31.1	42.6	24.6	21.3	19.7	16.4	11.5	6.6	8.2	-	-	3.3	3.3	
60～69歳	44	81.8	45.5	47.7	47.7	34.1	31.8	18.2	27.3	18.2	20.5	25.0	13.6	-	-	-	2.3	2.3	
70歳以上	77	72.7	41.6	42.9	41.6	39.0	33.8	16.9	29.9	24.7	27.3	20.8	18.2	6.5	-	-	-	14.3	
問3 小学校区																			
長久手小学校	51	78.4	54.9	43.1	47.1	31.4	43.1	19.6	27.5	21.6	11.8	11.8	7.8	5.9	-	-	3.9	2.0	
西小学校	54	81.5	61.1	50.0	42.6	33.3	40.7	25.9	31.5	16.7	24.1	22.2	9.3	1.9	-	-	1.9	3.7	
東小学校	40	72.5	52.5	52.5	42.5	37.5	40.0	50.0	32.5	25.0	30.0	25.0	15.0	5.0	-	-	-	10.0	
北小学校	75	81.3	57.3	50.7	45.3	41.3	44.0	28.0	29.3	26.7	18.7	21.3	16.0	2.7	-	-	2.7	4.0	
南小学校	66	74.2	56.1	42.4	40.9	51.5	33.3	33.3	24.2	39.4	22.7	22.7	13.6	3.0	-	-	1.5	9.1	
市が洞小学校	72	81.9	56.9	40.3	47.2	41.7	36.1	33.3	27.8	27.8	23.6	19.4	15.3	5.6	-	-	4.2	1.4	
問4 居住年数																			
半年未満	5	100.0	80.0	80.0	40.0	80.0	40.0	40.0	20.0	-	40.0	40.0	-	-	-	-	-	-	
半年以上1年未満	6	66.7	50.0	50.0	66.7	50.0	33.3	50.0	33.3	33.3	33.3	33.3	16.7	16.7	-	-	-	-	
1年以上5年未満	39	79.5	51.3	46.2	51.3	38.5	46.2	48.7	23.1	33.3	12.8	15.4	7.7	-	-	-	5.1	-	
5年以上10年未満	55	76.4	54.5	50.9	41.8	36.4	36.4	40.0	21.8	23.6	18.2	18.2	10.9	3.6	-	-	5.5	9.1	
10年以上20年未満	84	83.3	60.7	46.4	46.4	41.7	39.3	28.6	34.5	29.8	17.9	21.4	14.3	3.6	-	-	1.2	2.4	
20年以上	142	78.9	54.2	44.4	40.8	38.7	40.1	24.6	28.2	23.9	22.5	17.6	13.4	4.2	-	-	2.1	4.2	

6 その他（意見・要望）

質問17 あなたは毎日の生活の中で、地域に住む外国人が地域になじみ、彼らと交流・共生していくためには、何が必要だと思いますか。（地域の日本人に必要なこと、外国人に必要なこと、市に必要なこと、企業に必要なことなど、自由にお書きください。）

相互理解、協力、交流について

- 長久手の行事、祭り等に参加して文化を知ってもらう。社会人に外国語教室を開いて地元の住民と交流する機会を作る。
- 外国人のマナーの悪さがTVやメディアで放送され、外国人のイメージの悪さが前にでてしまい、交流しづらい、したくないと思っている人は多いと思います。外国人に日本に滞在する上でのマナーを学んでいただき、日本人との交流の場をもっと多くして、他文化を良いように取り込んでいけたらよいように進むと思います。
- 国民性の考え方など、違ってあたり前なのでお互いをもっと理解する気持ちを強く持つべきだと思う。縁あって日本に来てくれたのだから「第2のふるさと」と思ってもらえるように私達日本人が、広い心でなければならない。
- 日本だから、日本のルールで縛るのではなく外国人の方の意見も取り入れて、改善できる所は改善した方がいいと思った。その方が外国人も住みやすいし、地元の人々もより住みやすくなるかもしれないから。
- 日本人が外国人に、何に対して手伝いが必要なのかを、まず知ることだと思います。近い所に相談しやすい環境があると、情報が集めやすいのではと思います（日本人も外国人も）。
- 文化や宗教の違いによる考え方の相違は簡単には解決しないでしょう。しかし、お互いに受け入れる努力はできるはずです。それにはもっとお互いの事を知るべきです。広報誌に長久手に多く住んでいる国の方の、その国の紹介や習慣をどんどん発信していく事で溝をうめていくことができるはずです。

生活のルールの情報提供と情報共有

- 地域に馴染めるよう、外国人移住者の方には、市や地域住民から「その地域に住むルール」をサポートする必要があると考えます。
- 住んでいるマンションに外国人の方が数人、入居してきました。それからごみ置き場が荒れました。でも私はその人達が全て悪いとは思いません。入居の時にきちんとルールやマナーを教えてあげるべきだと思うからです。日本では、長久手では、共同の場ではこうですよと言うのが親切です。それを知らずにゴミを出して、外国人はああだこうだと決めつけて責めてはいけません、管理会社にも伝えました。これをもっと長久手市から管理会社や不動産屋さんに言ってほしいです。
- 生活するうえで必要な買い物をする場所への分かりやすい表示（標識も含む）がもっと必要かと。病院や美容室、クリーニングやコンビニ等、身近でよく利用される場所から早めにスタッフ教育もあわせて外国人に優しい表示システムにしてほしい。

市や国（行政）、企業等に望むこと
○外国人が気軽に相談できる窓口を多く作る。マナーや使用法（公共の物、場所）等を多言語で案内表示する等。 ○市に対しては外国語（英語、中国語、韓国語、ポルトガル語等）を話せる職員が必要だと思います。 ○長久手市では他の市町村に比べて若者世代が増加している背景を活かす必要があると考える。特に大学生である。市内に4大学あるが学部間の連携が希薄であると感じる。各々の異なる学問を専門的に学んでいる学生同士の交流が良いアイデアを生むと確信している。又多文化共生を考えるうえで若者のアイデアを取り込めるように、行政も各大学に働きかけることで、より身近な存在になると思う。 ○多様性の社会の中、外国人が増えていく事は当然の事。他国や日本国内で外国人の受け入れに積極的な自治体がどんな取組をしているのかを市としてもっと勉強して行ってほしい。 ○企業に対しては“低賃金労働者”としての受け入れではなく、質の高い仕事をしてくれる人には日本人と同じような待遇にしてほしい。生活水準が一緒でないと、ゴミの問題など金銭的に負担のかかりそうな問題を外国人自身で解決しづらいと思う。 ○将来長久手は外国の人達が増えるのは、間違いないことなので、早くから行政が計画的に準備する必要がせまっているのではないかな。個人ではなかなか進まない気がする。
子どもの教育について
○小・中学校での言葉の問題。言葉がわからないと会話に入れず、孤立してしまうので、かなりつらいと思う。 ○子どものころから、外国人とかの区別なく接するような異文化交流、教育が充実しているといい。 ○外国人の子どもにも教育が一番大事と考えます。彼らに日本の義務教育を受けるように薦めてほしい。日本に来たのなら日本人と同じように進学、就職してほしい。日本にある自国の学校に通うのも否定できないが、親の都合で通えなくなって日本語も話せない、学校にも行っていない子がなくなるように行政がすべての子どもを把握してほしい。
お互いを思いやる心、寛容の精神、人権尊重
○そもそも日本人だ、外国人だと区切ること自体に違和感を感じます。地域に住んでいる人が困っていれば日本人であろうが外国人であろうが助けあえばいいと思います。 ○外国人に限ったことではありませんが、日本全体に個々の人、多様な人が自分のまわりに生活している。人権意識にうといと感じます。他者の人格を尊重する意識の向上をはかりたい。男女の違い、体型、肌の色に能力の有無等々違ってあたりまえ、私たちは誰に対しても基本的に「人としての尊厳を傷つけない」この意識が地域に根づく施策を望みます。 ○日本の文化は守りつつ、海外の方を日本人じゃないと特別に思わず、境界線を引かず、普通に暮らせるのが良いと思います。ご縁があつて長久手に住むことになられた方、すべてを大切にいただけると住民として嬉しいです。
その他
○現在の生活の中で周りに外国人の方がいないので具体的な意見がない状態です。 ○外国人が居住する事により治安が悪くならないか心配です。メリット、デメリットをきちんと表示してほしい。

V 外国人市民アンケート結果

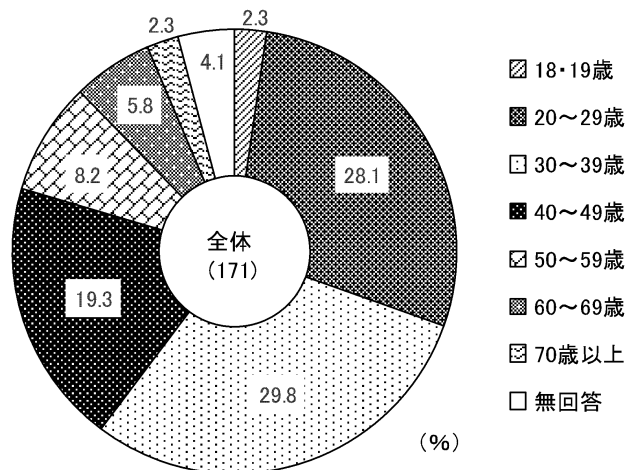
1 あなた自身について

※調査票の設問順とは異なりますが、項目を入れ替えて記載しています。

1-1 年齢

質問22 あなたの年齢は？＜1つに○印＞

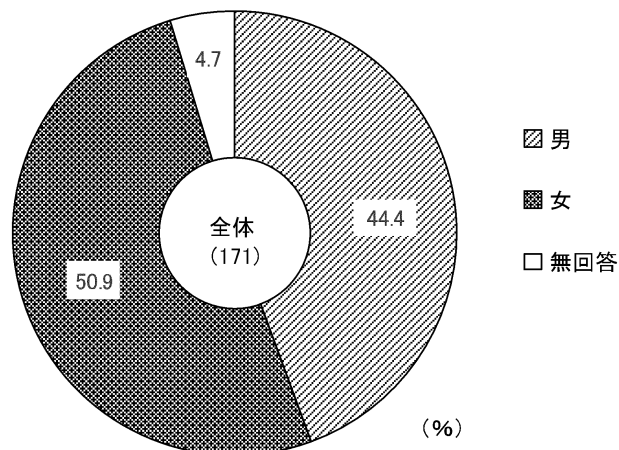
年齢は、「30～39歳」が29.8%で最も高く、次いで「20～29歳」が28.1%、「40～49歳」が19.3%となっています。



1-2 性別

質問23 あなたの性別は？＜1つに○印＞

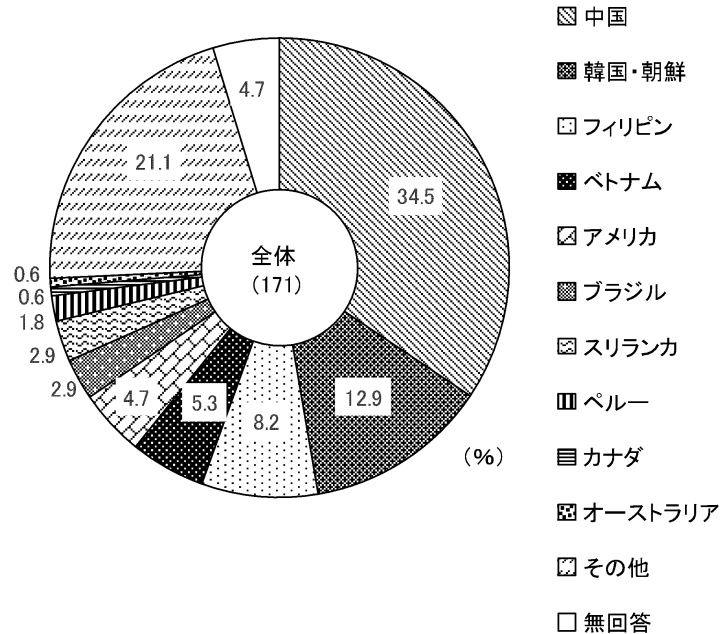
性別は、「男」が44.4%、「女」が50.9%となっています。



1-3 国籍

質問24 あなたの国籍は？＜1つに○印＞

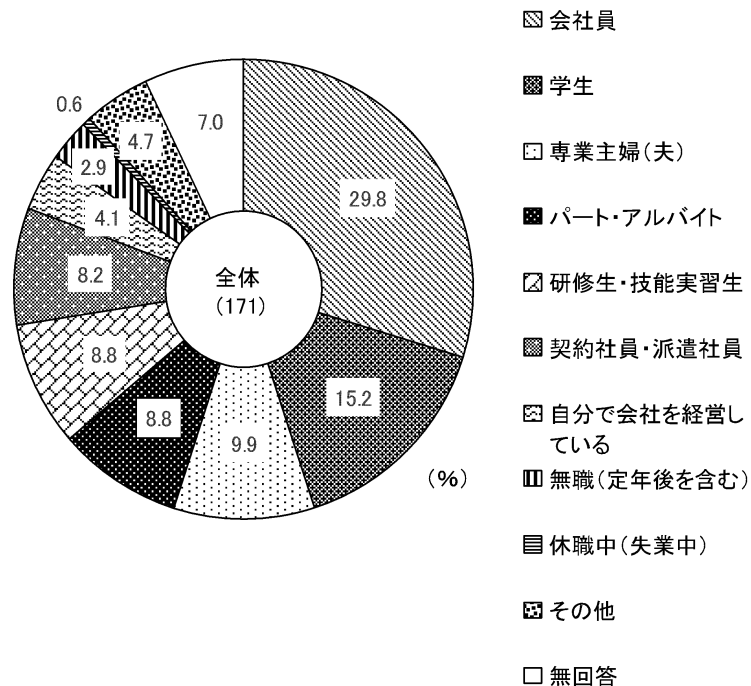
国籍は、「中国」が34.5%で最も高く、次いで「韓国・朝鮮」が12.9%となっています。
その他の国籍は、台湾、フランス、イギリス、ロシアなどとなっています。



1-4 職業

質問25 あなたの仕事は？＜1つに○印＞

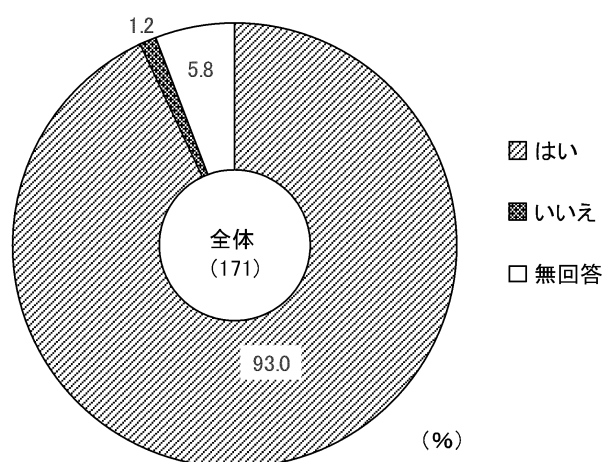
職業は、「会社員」が29.8%で最も高く、次いで「学生」が15.2%となっています。



1-5 在留資格の把握

質問26 あなたは自分自身の在留資格を把握していますか？＜1つに○印＞

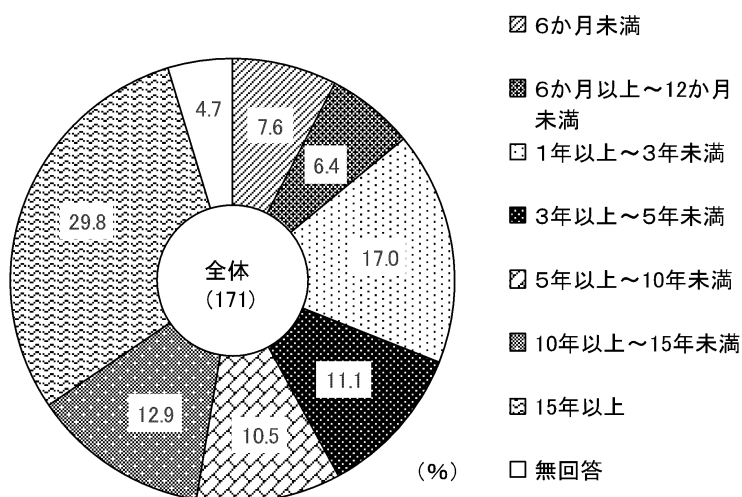
在留資格の把握は、「はい」が93.0%、「いいえ」が1.2%となっています。



1-6 日本での居住年数

質問27 あなたは日本にどのくらい住んでいますか？＜1つに○印＞

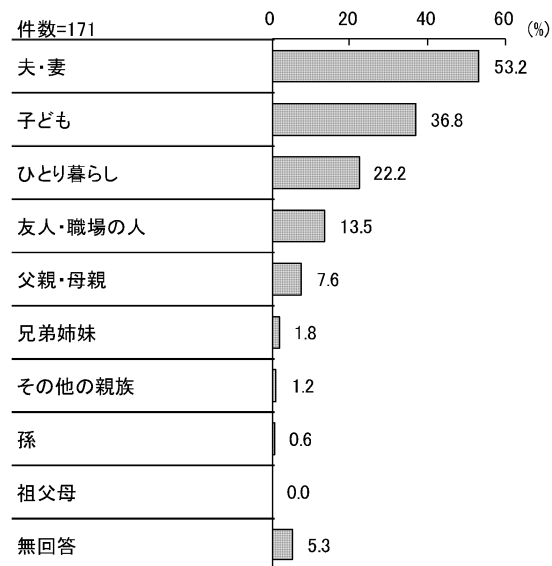
日本での居住年数は、「15年以上」が29.8%で最も高く、次いで「1年以上3年未満」が17.0%、「10年以上15年未満」が12.9%となっています。



1-7 同居人

質問28 今、あなたと一緒に住んでいる人はいますか？＜あてはまるものすべてに○印＞

同居人は、「夫・妻」が53.2%で最も高く、次いで「子ども」が36.8%、「ひとり暮らし」が22.2%、「友人・職場の人」が13.5%となっています。

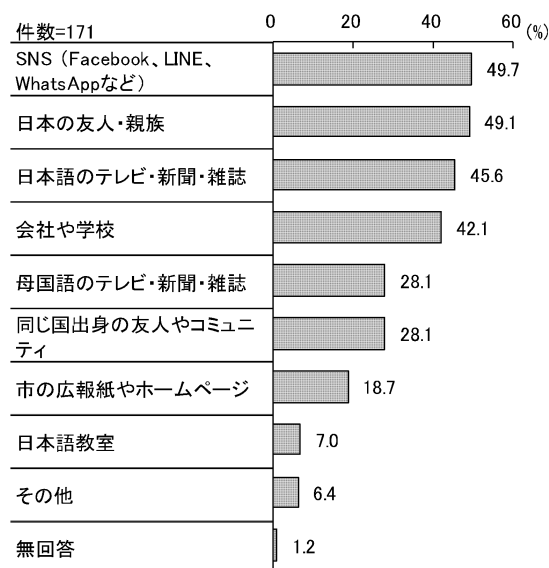


2 生活の情報について

2-1 生活に必要な情報の入手方法

質問1 あなたは生活に必要な情報を、どうやって知りますか？＜あてはまるものすべてに○印＞

生活に必要な情報の入手方法は、「SNS（Facebook、LINE、WhatsAppなど）」が49.7%で最も高くなっています。次いで「日本の友人・親族」が49.1%、「日本語のテレビ・新聞・雑誌」が45.6%、「会社や学校」が42.1%と高くなっており、生活の身近なところからの情報入手が多くなっています。



性別でみると、「SNS（Facebook、LINE、WhatsAppなど）」は男性が44.7%、女性が55.2%となっています。

年代別でみると、「日本の友人・親族」「日本語のテレビ・新聞・雑誌」は全ての年代で高い傾向にあります。

居住年数別でみると、「市の広報紙やホームページ」は年数が増えるにつれて回答割合が高くなっています。

国籍別でみると、「会社や学校」は中国（59.3%）で高くなっています。また、「日本語のテレビ・新聞・雑誌」は韓国・朝鮮（72.7%）で7割以上となっています。

職業別でみると、「SNS（Facebook、LINE、WhatsAppなど）」は学生（65.4%）、「日本の友人・親族」は学生（61.5%）、「会社や学校」は学生（76.9%）、「同じ国出身の友人やコミュニティ」は学生（38.5%）、「日本語教室」は学生（15.4%）で高くなっています。

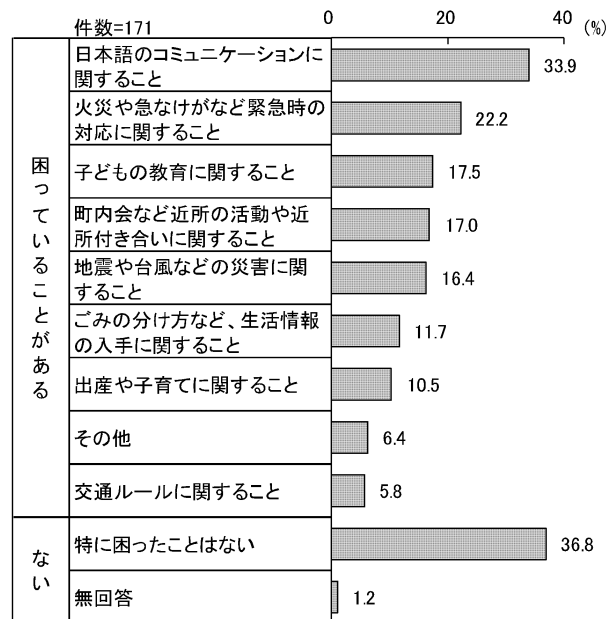
(%)	件数	など LINE、Facebook、 WhatsApp	日本の友人・親族	日本語のテレビ・新聞・雑誌	会社や学校	母国語のテレビ・新聞・雑誌	同じ国出身の友人やコミュニティ	市の広報紙やホームページ	日本語教室	その他	無回答
全 体	171	49.7	49.1	45.6	42.1	28.1	28.1	18.7	7.0	6.4	1.2
問23 性別											
男	76	44.7	52.6	53.9	40.8	31.6	26.3	14.5	3.9	9.2	-
女	87	55.2	49.4	36.8	44.8	27.6	31.0	20.7	9.2	3.4	1.1
問22 年齢											
18・19歳	4	75.0	50.0	75.0	100.0	25.0	50.0	25.0	-	-	-
20～29歳	48	72.9	58.3	41.7	62.5	25.0	29.2	8.3	12.5	2.1	-
30～39歳	51	54.9	52.9	35.3	47.1	33.3	41.2	19.6	5.9	7.8	-
40～49歳	33	33.3	36.4	42.4	24.2	36.4	18.2	18.2	3.0	6.1	6.1
50～59歳	14	21.4	35.7	64.3	21.4	21.4	7.1	28.6	7.1	14.3	-
60～69歳	10	10.0	70.0	60.0	10.0	30.0	30.0	20.0	-	-	-
70歳以上	4	25.0	50.0	75.0	-	-	-	50.0	-	25.0	-
問27 日本での居住年数											
6か月未満	13	76.9	69.2	15.4	46.2	30.8	30.8	7.7	30.8	-	-
6か月以上～12か月未満	11	54.5	36.4	9.1	54.5	36.4	18.2	9.1	-	27.3	-
1年以上～3年未満	29	69.0	37.9	34.5	72.4	24.1	31.0	3.4	10.3	3.4	-
3年以上～5年未満	19	42.1	52.6	42.1	63.2	31.6	47.4	15.8	-	-	-
5年以上～10年未満	18	33.3	72.2	50.0	33.3	22.2	27.8	16.7	11.1	-	-
10年以上～15年未満	22	50.0	54.5	63.6	45.5	40.9	40.9	18.2	4.5	13.6	-
15年以上	51	41.2	45.1	56.9	17.6	27.5	17.6	31.4	2.0	5.9	3.9
問24 国籍											
中国	59	52.5	37.3	52.5	59.3	33.9	28.8	18.6	3.4	1.7	-
韓国・朝鮮	22	36.4	22.7	72.7	9.1	9.1	13.6	27.3	-	9.1	-
ブラジル	5	40.0	60.0	60.0	60.0	40.0	20.0	20.0	-	-	-
アメリカ	8	50.0	100.0	37.5	37.5	50.0	62.5	12.5	-	12.5	-
フィリピン	14	85.7	64.3	14.3	42.9	35.7	50.0	21.4	14.3	7.1	7.1
ベトナム	9	100.0	55.6	11.1	77.8	33.3	44.4	11.1	11.1	-	-
ペルー	3	66.7	66.7	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-
カナダ	1	-	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-
オーストラリア	1	-	-	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-
スリランカ	5	60.0	60.0	40.0	20.0	40.0	20.0	20.0	-	-	-
その他	36	27.8	66.7	38.9	30.6	22.2	19.4	13.9	13.9	11.1	2.8
問25 職業											
全 体	171	49.7	49.1	45.6	42.1	28.1	28.1	18.7	7.0	6.4	1.2
自分で会社を経営している	7	42.9	71.4	71.4	14.3	28.6	28.6	14.3	-	-	-
会社員	51	45.1	43.1	45.1	37.3	37.3	29.4	17.6	5.9	9.8	2.0
契約社員・派遣社員	14	57.1	78.6	35.7	35.7	28.6	42.9	7.1	7.1	-	7.1
パート・アルバイト	15	26.7	60.0	66.7	20.0	26.7	26.7	33.3	-	6.7	-
研修生・技能実習生	15	100.0	13.3	-	93.3	-	6.7	-	-	-	-
学生	26	65.4	61.5	46.2	76.9	30.8	38.5	15.4	15.4	3.8	-
専業主婦(夫)	17	29.4	41.2	58.8	-	29.4	23.5	23.5	11.8	5.9	-
休職中(失業中)	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無職(定年後を含む)	5	20.0	60.0	80.0	-	-	-	20.0	-	-	-
その他	8	25.0	50.0	37.5	37.5	37.5	25.0	25.0	-	25.0	-

2-2 不安に感じていること、困っていること

質問2 あなたが不安に感じていること、困っていることはありますか？

<あてはまるものすべてに○印>

不安に感じていること、困っていることは、「日本語のコミュニケーション関すること」が33.9%で最も高く、次いで「火災や急なけがなど緊急時の対応に関すること」が22.2%、「子どもの教育に関すること」が17.5%、「町内会など近所の活動や近所付き合いに関すること」が17.0%、「地震や台風などの災害に関すること」が16.4%となっています。一方、「特に困ったことはない」は36.8%となっています。



年代別でみると、「子どもの教育に関すること」は30～39歳（31.4%）、「出産や子育てに関すること」は30～39歳（21.6%）で高くなっています。

居住年数別でみると、「日本語のコミュニケーションに関すること」は6か月未満から3年以上～5年未満で4割から5割以上と高くなっています。「ごみの分け方など、生活情報の入手に関すること」は1年以上～3年未満（27.6%）で高くなっており、居住年数が少ない程高い傾向にあります。

職業別でみると、「日本語のコミュニケーションに関すること」は学生（46.2%）と契約社員・派遣社員（50.0%）で高くなっています。「子どもの教育に関すること」は会社員（23.5%）とパート・アルバイト（33.3%）で高くなっています。

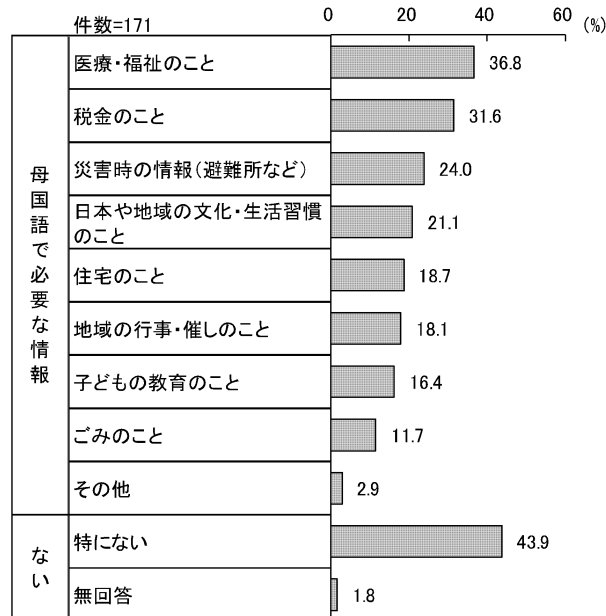
	件数	日本語のコミュニケーションに関すること	火災や急な対応など緊	子どもの教育に関すること	町内会など近所の活動	地震や台風などの災害に関すること	生活情報の分け方など、生活情報に関すること	出産や子育てに関すること	交通ルールに関すること	その他	特に困ったことはない	無回答
(%)												
全 体	171	33.9	22.2	17.5	17.0	16.4	11.7	10.5	5.8	6.4	36.8	1.2
問23 性別												
男	76	31.6	25.0	18.4	17.1	15.8	11.8	9.2	5.3	6.6	36.8	—
女	87	37.9	21.8	17.2	16.1	18.4	12.6	11.5	6.9	6.9	35.6	1.1
問22 年齢												
18・19歳	4	50.0	—	25.0	50.0	25.0	—	—	—	—	25.0	—
20～29歳	48	37.5	25.0	8.3	16.7	20.8	20.8	8.3	6.3	4.2	31.3	—
30～39歳	51	33.3	29.4	31.4	19.6	19.6	15.7	21.6	9.8	5.9	31.4	—
40～49歳	33	30.3	18.2	18.2	12.1	3.0	—	3.0	6.1	12.1	42.4	6.1
50～59歳	14	50.0	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3	—	—	—	28.6	—
60～69歳	10	30.0	10.0	—	10.0	40.0	—	10.0	—	20.0	50.0	—
70歳以上	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
問27 日本での居住年数												
6か月未満	13	53.8	23.1	—	—	15.4	23.1	—	7.7	—	30.8	—
6か月以上～12か月未満	11	54.5	18.2	18.2	9.1	9.1	27.3	9.1	9.1	9.1	45.5	—
1年以上～3年未満	29	44.8	13.8	—	6.9	20.7	27.6	6.9	6.9	3.4	44.8	—
3年以上～5年未満	19	42.1	42.1	26.3	26.3	26.3	15.8	21.1	5.3	10.5	15.8	—
5年以上～10年未満	18	38.9	44.4	27.8	33.3	27.8	5.6	22.2	5.6	5.6	11.1	—
10年以上～15年未満	22	13.6	9.1	36.4	18.2	4.5	4.5	9.1	9.1	13.6	40.9	—
15年以上	51	23.5	21.6	17.6	17.6	13.7	2.0	5.9	3.9	5.9	45.1	3.9
問25 職業												
自分で会社を経営している	7	28.6	—	14.3	14.3	—	—	—	—	—	42.9	—
会社員	51	33.3	23.5	23.5	17.6	19.6	7.8	11.8	3.9	7.8	33.3	2.0
契約社員・派遣社員	14	50.0	57.1	7.1	28.6	21.4	35.7	14.3	14.3	—	14.3	7.1
パート・アルバイト	15	33.3	13.3	33.3	6.7	—	—	6.7	—	—	33.3	—
研修生・技能実習生	15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
学生	26	46.2	19.2	11.5	23.1	23.1	23.1	7.7	7.7	7.7	11.5	—
専業主婦(夫)	17	35.3	41.2	17.6	23.5	35.3	17.6	29.4	17.6	5.9	29.4	—
休職中(失業中)	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
無職(定年後を含む)	5	20.0	—	—	—	20.0	—	20.0	—	—	80.0	—
その他	8	50.0	25.0	12.5	25.0	25.0	12.5	—	12.5	25.0	37.5	—

2-3 母国語で必要だと思う情報

質問3 あなたは、母国語で必要だと思う情報はありますか？＜あてはまるものすべてに○印＞

母国語で必要だと思う情報は、「医療・福祉のこと」が36.8%で最も高く、次いで「税金のこと」が31.6%、「災害時の情報（避難所など）」が24.0%、「日本や地域の文化・生活習慣のこと」が21.1%となっており、暮らしに関わる項目が高くなっています。

一方、「特にない」は43.9%となっています。



性別でみると、「医療・福祉のこと」は男性が42.1%、女性が32.2%となっています。

年代別でみると、「住宅のこと」は20～29歳から30～39歳の若い世代で高くなっています。また「ごみのこと」も20～29歳（20.8%）を中心に若い世代で高くなっています。

居住年数別でみると、「住宅のこと」「ごみのこと」は年数が増えるにつれて低くなっています。「医療・福祉のこと」は全ての居住年数において高くなっています。

国籍別からみた場合の言語別では、中国語、韓国語、英語（フィリピン、スリランカ、英語圏諸国が該当）の需要が高くなっています。

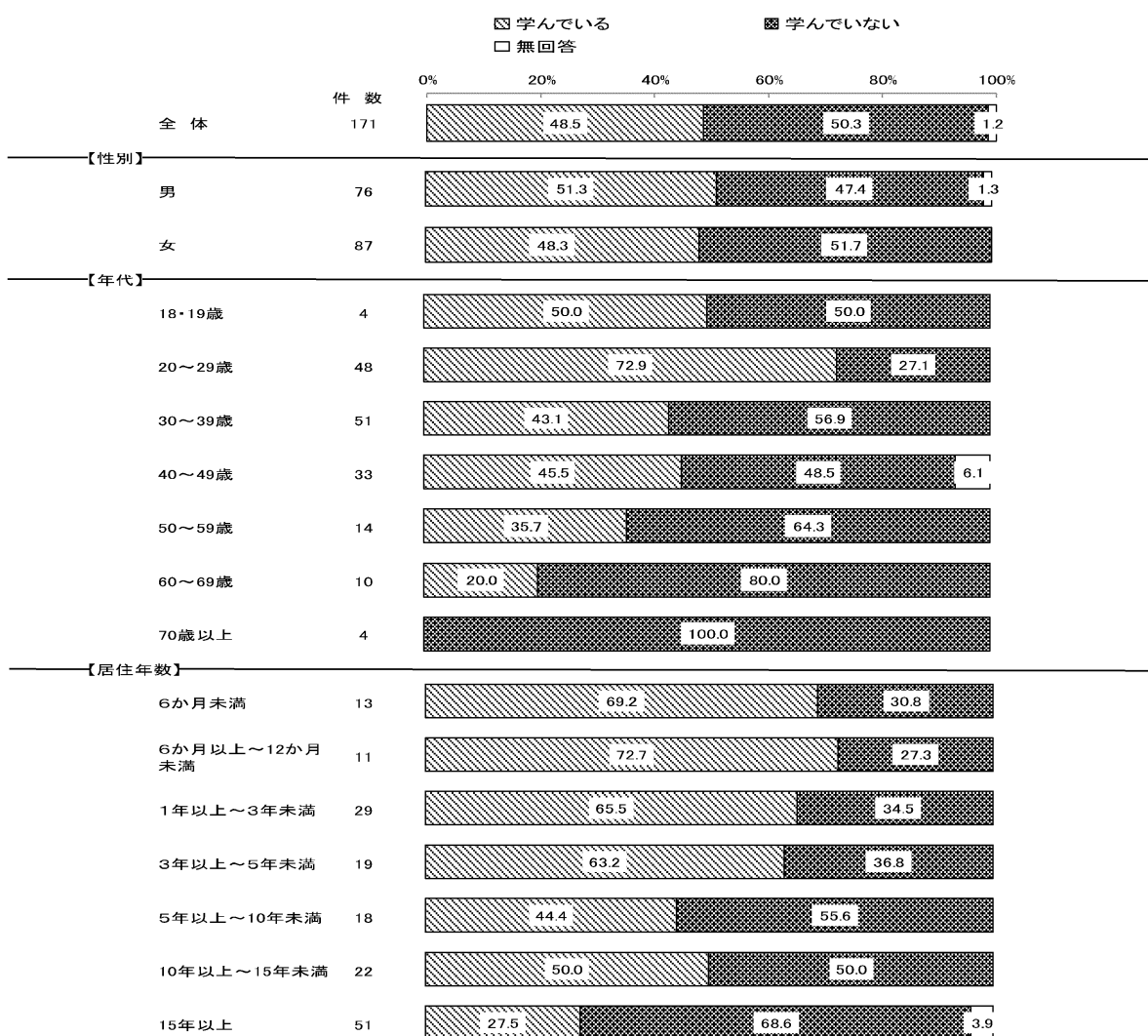
(%)	件数	医療・福祉のこと	税金のこと	災害時の情報（避難所など）	日本や地域の文化・生活習慣のこと	住宅のこと	地域での行事・催しのこと	子どもの教育のこと	ごみのこと	その他	特になし	無回答
全 体	171	36.8	31.6	24.0	21.1	18.7	18.1	16.4	11.7	2.9	43.9	1.8
問23 性別												
男	76	42.1	38.2	25.0	19.7	23.7	18.4	14.5	10.5	3.9	39.5	1.3
女	87	32.2	23.0	23.0	23.0	14.9	16.1	17.2	11.5	1.1	48.3	2.3
問22 年齢												
18・19歳	4	50.0	50.0	25.0	50.0	50.0	25.0	—	25.0	—	50.0	—
20～29歳	48	35.4	35.4	27.1	31.3	25.0	22.9	8.3	20.8	—	45.8	2.1
30～39歳	51	43.1	37.3	29.4	13.7	23.5	15.7	29.4	9.8	5.9	33.3	—
40～49歳	33	33.3	21.2	12.1	18.2	9.1	15.2	21.2	6.1	3.0	54.5	3.0
50～59歳	14	42.9	35.7	35.7	28.6	14.3	28.6	7.1	7.1	7.1	35.7	—
60～69歳	10	30.0	—	10.0	20.0	10.0	—	—	—	—	50.0	10.0
70歳以上	4	—	—	25.0	—	—	—	—	—	—	75.0	—
問27 日本での居住年数												
6か月未満	13	38.5	30.8	23.1	30.8	30.8	23.1	—	15.4	—	30.8	—
6か月以上～12か月未満	11	45.5	36.4	36.4	45.5	18.2	36.4	9.1	9.1	—	45.5	—
1年以上～3年未満	29	31.0	31.0	20.7	27.6	20.7	17.2	10.3	17.2	—	51.7	3.4
3年以上～5年未満	19	57.9	47.4	36.8	31.6	42.1	21.1	31.6	21.1	—	31.6	—
5年以上～10年未満	18	50.0	55.6	27.8	27.8	27.8	16.7	16.7	16.7	—	22.2	—
10年以上～15年未満	22	36.4	36.4	9.1	—	18.2	13.6	27.3	4.5	13.6	45.5	—
15年以上	51	25.5	11.8	25.5	15.7	3.9	13.7	15.7	5.9	3.9	54.9	3.9
問24 国籍												
中国	59	33.9	23.7	15.3	23.7	16.9	15.3	13.6	10.2	—	55.9	—
韓国・朝鮮	22	22.7	18.2	18.2	9.1	9.1	9.1	—	9.1	—	63.6	—
ブラジル	5	20.0	40.0	20.0	40.0	20.0	40.0	—	20.0	—	40.0	—
アメリカ	8	50.0	25.0	25.0	—	37.5	12.5	50.0	—	12.5	25.0	—
フィリピン	14	35.7	28.6	28.6	21.4	7.1	7.1	35.7	14.3	14.3	28.6	7.1
ベトナム	9	66.7	55.6	55.6	44.4	33.3	33.3	33.3	33.3	—	33.3	—
ペルー	3	33.3	66.7	33.3	66.7	—	33.3	33.3	—	—	33.3	—
カナダ	1	—	100.0	—	—	100.0	100.0	—	—	—	—	—
オーストラリア	1	100.0	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
スリランカ	5	60.0	80.0	60.0	20.0	60.0	—	—	20.0	—	20.0	—
その他	36	38.9	33.3	25.0	22.2	22.2	25.0	16.7	11.1	5.6	33.3	5.6

3 言語について

3-1 日本語の学習状況

質問4 今、日本語を学んでいますか？＜1つに○印＞

日本語の学習状況は「学んでいる」が48.5%、「学んでいない」が50.3%となっています。
性別でみると、「学んでいる」は男性が51.3%、女性が48.3%となっています。
年代別でみると、「学んでいる」は20～29歳が72.9%で高くなっています。
居住年数別でみると、「学んでいる」は5年未満の居住年数で6割以上となっています。



国籍別でみると、「学んでいる」はベトナム（88.9%）、フィリピン（78.6%）が高く、「学んでいない」は韓国・朝鮮（72.7%）で7割以上となっています。

職業別でみると、「学んでいる」は学生（80.8%）で高くなっています。

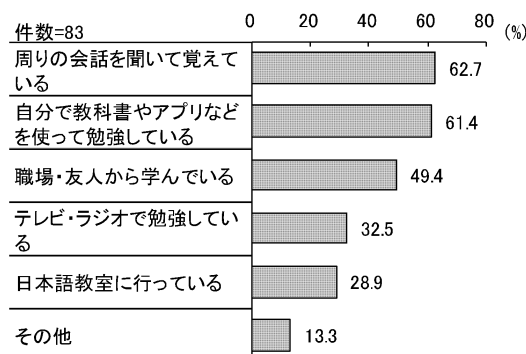
	件数	学んでいる	学んでいない	無回答
(%)				
全 体	171	48.5	50.3	1.2
問24 国籍				
中国	59	45.8	54.2	-
韓国・朝鮮	22	22.7	72.7	4.5
ブラジル	5	60.0	40.0	-
アメリカ	8	50.0	50.0	-
フィリピン	14	78.6	14.3	7.1
ベトナム	9	88.9	11.1	-
ペルー	3	66.7	33.3	-
カナダ	1	100.0	-	-
オーストラリア	1	100.0	-	-
スリランカ	5	20.0	80.0	-
その他	36	47.2	52.8	-
問25 職業				
全 体	171	48.5	50.3	1.2
自分で会社を経営している	7	28.6	71.4	-
会社員	51	49.0	47.1	3.9
契約社員・派遣社員	14	57.1	42.9	-
パート・アルバイト	15	53.3	46.7	-
研修生・技能実習生	15	26.7	73.3	-
学生	26	80.8	19.2	-
専業主婦(夫)	17	29.4	70.6	-
休職中(失業中)	1	-	100.0	-
無職(定年後を含む)	5	-	100.0	-
その他	8	50.0	50.0	-

3-2 日本語を学ぶ方法

質問5 今、日本語を学んでいる人は答えてください。どうやって日本語を学んでいますか？

<あてはまるものすべてに○印>

日本語を学ぶ方法は、「周りの会話を聞いて覚えている」が62.7%で最も高く、次いで「自分で教科書やアプリなどを使って勉強している」が61.4%、「職場・友人から学んでいる」が49.4%となっています。



性別でみると、「周りの会話を聞いて覚えている」は男性が51.3%、女性が73.8%となっています。

年代別でみると、「職場・友人から学んでいる」は30～39歳（59.1%）、「日本語教室に行っている」は20～29歳（37.1%）で高くなっています。

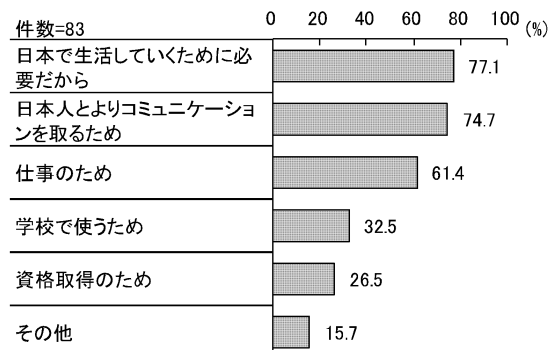
	件数	え周 てりの いの 会話を 聞いて 覚	いなど 分で を使 って 教科 書や 勉強 して り	いる 職 場・ 友 人 か ら 学 ん で	して レ ビ ・ ラ ジ オ で 勉 強	る日 本 語 教 室 に 行 っ て い	そ の 他
(%)							
全 体	83	62.7	61.4	49.4	32.5	28.9	13.3
問23 性別							
男	39	51.3	56.4	35.9	33.3	23.1	15.4
女	42	73.8	66.7	64.3	28.6	33.3	11.9
問22 年齢							
18・19歳	2	50.0	100.0	50.0	100.0	50.0	—
20～29歳	35	65.7	60.0	57.1	34.3	37.1	20.0
30～39歳	22	68.2	63.6	59.1	22.7	27.3	13.6
40～49歳	15	60.0	73.3	46.7	33.3	13.3	—
50～59歳	5	40.0	20.0	—	20.0	—	20.0
60～69歳	2	50.0	50.0	—	—	50.0	—
70歳以上	—	—	—	—	—	—	—
問27 日本での居住年数							
6か月未満	9	77.8	77.8	22.2	22.2	77.8	22.2
6か月以上～12か月未満	8	75.0	100.0	62.5	—	25.0	12.5
1年以上～3年未満	19	47.4	52.6	57.9	26.3	26.3	—
3年以上～5年未満	12	75.0	66.7	66.7	50.0	16.7	25.0
5年以上～10年未満	8	62.5	50.0	50.0	62.5	50.0	—
10年以上～15年未満	11	63.6	54.5	63.6	36.4	9.1	18.2
15年以上	14	57.1	50.0	28.6	21.4	14.3	21.4

3-3 日本語を学ぶ理由

質問6 今、日本語を学んでいる人は教えてください。何のために日本語を学んでいますか？

＜あてはまるものすべてに○印＞

日本語を学ぶ理由は、「日本で生活していくために必要だから」が77.1%で最も高く、次いで「日本人とよりコミュニケーションをとるため」が74.7%、「仕事のため」が61.4%となっています。



性別でみると、「日本で生活していくために必要だから」は男性が79.5%、女性が73.8%となっています。

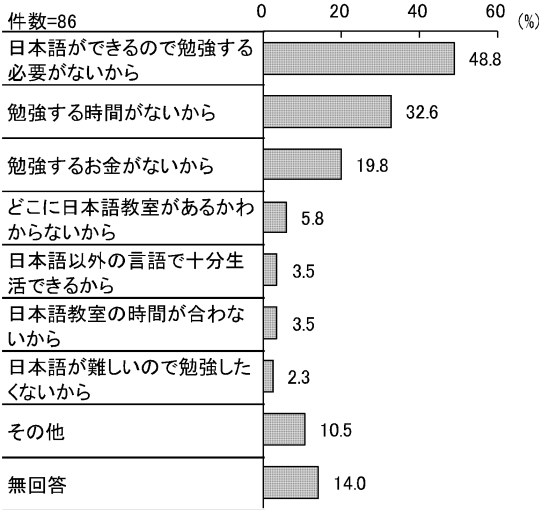
年代別でみると、「日本で生活していくために必要だから」は30～39歳（86.4%）、「学校で使うため」は20～29歳（42.9%）、「資格取得のため」は20～29歳（42.9%）で高くなっています。

(%)	件数	日本に必要だから生活していくため	日本人とよコミュニケーションを取るため	仕事のため	学校で使うため	資格取得のため	その他
全体	83	77.1	74.7	61.4	32.5	26.5	15.7
問23 性別							
男	39	79.5	74.4	64.1	25.6	25.6	23.1
女	42	73.8	76.2	59.5	40.5	28.6	9.5
問22 年齢							
18・19歳	2	100.0	50.0	—	100.0	50.0	—
20～29歳	35	62.9	77.1	60.0	42.9	42.9	20.0
30～39歳	22	86.4	72.7	68.2	31.8	18.2	18.2
40～49歳	15	93.3	73.3	73.3	20.0	13.3	6.7
50～59歳	5	60.0	80.0	60.0	—	—	20.0
60～69歳	2	100.0	100.0	—	—	—	—
70歳以上	—	—	—	—	—	—	—
問27 日本での居住年数							
6か月未満	9	77.8	88.9	44.4	66.7	66.7	22.2
6か月以上～12か月未満	8	75.0	100.0	50.0	37.5	—	37.5
1年以上～3年未満	19	73.7	68.4	52.6	26.3	21.1	5.3
3年以上～5年未満	12	83.3	66.7	75.0	50.0	50.0	8.3
5年以上～10年未満	8	87.5	87.5	75.0	12.5	12.5	—
10年以上～15年未満	11	72.7	63.6	81.8	27.3	27.3	18.2
15年以上	14	71.4	71.4	57.1	21.4	14.3	28.6

3－4 日本語を学んでいない理由

質問7 今、日本語を学んでいない人は答えてください。日本語を学んでいないのはなぜですか？
＜あてはまるものすべてに○印＞

日本語を学んでいない理由は、「日本語ができるので勉強する必要がないから」が48.8%で最も高く、次いで「勉強する時間がないから」が32.6%、「勉強するお金がないから」が19.8%となっています。



性別でみると、「日本語ができるので勉強する必要がないから」は男女ともに最も高く、男性は50.0%、女性は42.2%となっています。

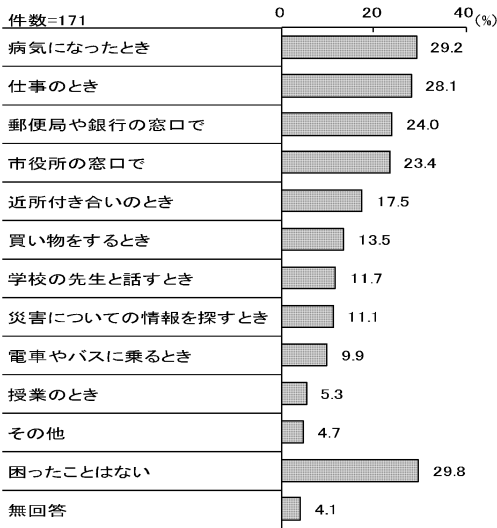
年代別でみると、「勉強する時間がないから」は30～39歳（41.1%）で高くなっています。
居住年数別でみると、「日本語ができるので勉強する必要がないから」は15年以上（65.7%）で6割以上となっています。

	件数	強日本語が必要がないので勉強する時間がないから	勉強する時間がないから	勉強するお金がないから	どこに日本語の教室があるかわからないから	分生話でできるから	日本語教室の時間が合わないから	強日本語が難しいので勉強する時間がないから	その他	無回答
(%)										
全 体	86	48.8	32.6	19.8	5.8	3.5	3.5	2.3	10.5	14.0
問23 性別										
男	36	50.0	30.6	11.1	8.3	8.3	5.6	2.8	16.7	13.9
女	45	42.2	37.8	28.9	4.4	-	2.2	2.2	2.2	15.6
問22 年齢										
18・19歳	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	13	38.5	23.1	23.1	-	-	-	-	-	23.1
30～39歳	29	34.5	41.4	24.1	6.9	6.9	-	3.4	6.9	20.7
40～49歳	16	62.5	50.0	31.3	6.3	6.3	6.3	-	12.5	6.3
50～59歳	9	44.4	33.3	11.1	22.2	-	-	-	-	11.1
60～69歳	8	37.5	25.0	12.5	-	-	25.0	12.5	25.0	-
70歳以上	4	75.0	-	-	-	-	-	-	25.0	25.0
問27 日本での居住年数										
6か月未満	4	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	25.0
6か月以上～12か月未満	3	-	100.0	66.7	-	-	-	-	-	-
1年以上～3年未満	10	-	70.0	60.0	-	-	-	-	10.0	10.0
3年以上～5年未満	7	28.6	28.6	14.3	-	14.3	14.3	-	14.3	28.6
5年以上～10年未満	10	60.0	10.0	10.0	10.0	10.0	-	10.0	10.0	10.0
10年以上～15年未満	11	54.5	27.3	-	-	-	9.1	-	-	27.3
15年以上	35	65.7	25.7	11.4	11.4	2.9	2.9	-	11.4	11.4

3－5 日本語を上手に話せなくて困った場面

質問 8 次のようなとき、日本語を上手に話せなくて困ったことはありましたか？
＜あてはまるものすべてに○印＞

日本語を上手に話せなくて困った場面は、「病気になったとき」が29.2%で最も高く、次いで「仕事するとき」が28.1%、「郵便局や銀行の窓口で」が24.0%、「市役所の窓口で」が23.4%、「近所付き合いのとき」が17.5%となっています。



年代別でみると、「病気になったとき」は20～29歳（43.8%）、「郵便局や銀行の窓口で」は20～29歳（35.4%）、「市役所の窓口で」は20～29歳（33.3%）、「電車やバスに乗るとき」は20～29歳（20.8%）で高くなっています。

居住年数別でみると、1年以上3年未満は「仕事するとき」（62.1%）、「買い物をするとき」（31.0%）、「電車やバスに乗るとき」（24.1%）で高くなっています。「電車やバスに乗るとき」は、5年以上住んでいる人では低くなっています。また、「困ったことはない」は、10年以上住んでいる人では5割以上となっています。

	件数	病気になったとき	仕事するとき	郵便局や銀行の窓口で	市役所の窓口で	近所付き合いのとき	買い物をするとき	学校の先生と話すとき	災害についての情報を探すとき	電車やバスに乗るとき	授業のとき	その他	困ったことはない	無回答
(%)														
全 体	171	29.2	28.1	24.0	23.4	17.5	13.5	11.7	11.1	9.9	5.3	4.7	29.8	4.1
問23 性別														
男	76	30.3	21.1	21.1	21.1	18.4	14.5	10.5	10.5	7.9	6.6	5.3	31.6	5.3
女	87	29.9	34.5	26.4	25.3	18.4	13.8	13.8	11.5	12.6	4.6	4.6	26.4	2.3
問22 年齢														
18・19歳	4	—	—	—	—	—	—	25.0	—	—	25.0	—	50.0	25.0
20～29歳	48	43.8	35.4	35.4	33.3	18.8	20.8	12.5	14.6	20.8	6.3	4.2	18.8	—
30～39歳	51	31.4	33.3	19.6	19.6	21.6	19.6	15.7	13.7	3.9	3.9	3.9	17.6	5.9
40～49歳	33	21.2	24.2	27.3	27.3	15.2	9.1	15.2	6.1	6.1	6.1	6.1	45.5	—
50～59歳	14	21.4	28.6	14.3	21.4	21.4	—	—	14.3	14.3	7.1	7.1	21.4	7.1
60～69歳	10	20.0	—	20.0	10.0	20.0	—	—	10.0	10.0	—	10.0	50.0	10.0
70歳以上	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
問27 日本での居住年数														
6か月未満	13	38.5	46.2	46.2	53.8	30.8	30.8	15.4	23.1	23.1	—	—	15.4	—
6か月以上～12か月未満	11	27.3	63.6	27.3	45.5	36.4	18.2	27.3	9.1	9.1	18.2	9.1	—	—
1年以上～3年未満	29	37.9	62.1	27.6	17.2	13.8	31.0	10.3	10.3	24.1	—	6.9	—	3.4
3年以上～5年未満	19	47.4	10.5	31.6	31.6	26.3	10.5	10.5	10.5	10.5	5.3	5.3	21.1	5.3
5年以上～10年未満	18	44.4	22.2	22.2	16.7	11.1	22.2	22.2	16.7	5.6	16.7	—	11.1	5.6
10年以上～15年未満	22	18.2	22.7	13.6	4.5	9.1	9.1	4.5	4.5	4.5	—	4.5	50.0	9.1
15年以上	51	17.6	7.8	19.6	21.6	15.7	—	9.8	11.8	2.0	5.9	5.9	54.9	2.0

3-6 日本語の理解度

質問9 あなたは、日本語がどのくらいできますか？〈あてはまるものすべてに○印〉

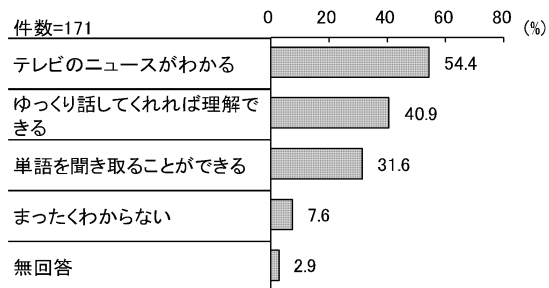
日本語に理解度は、「(1) 聞く」は「テレビのニュースがわかる」が54.4%で最も高く、次いで「ゆっくり話してくれれば理解できる」が40.9%、「単語を聞き取ることができる」が31.6%となっています。

「(2) 話す」は「自分の意見を発表できる」が56.1%で最も高く、次いで「日常会話ができる」が49.7%、「単語を話すことができる」が36.3%となっています。

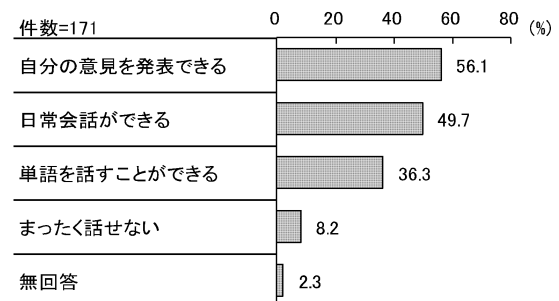
「(3) 読む」は「ひらがなが読める」が51.5%で最も高く、次いで「新聞や雑誌を読むことができる」「カタカナが読める」が48.0%となっています。

「(4) 書く」は「ひらがなが書ける」が45.0%で最も高く、次いで「簡単な文章が書ける」「カタカナが書ける」が43.9%となっています。

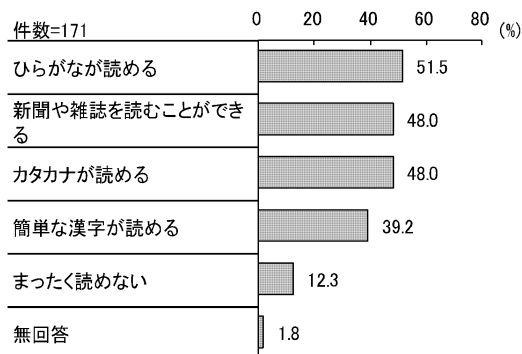
(1) 聞く



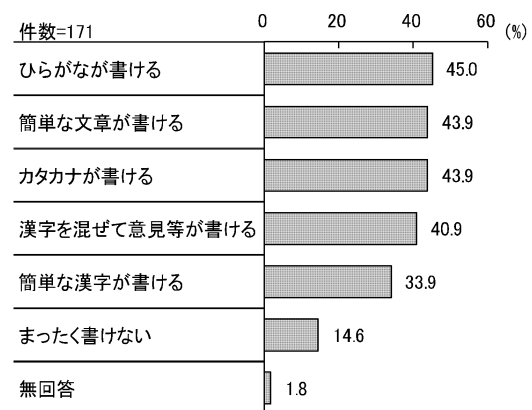
(2) 話す



(3) 読む



(4) 書く

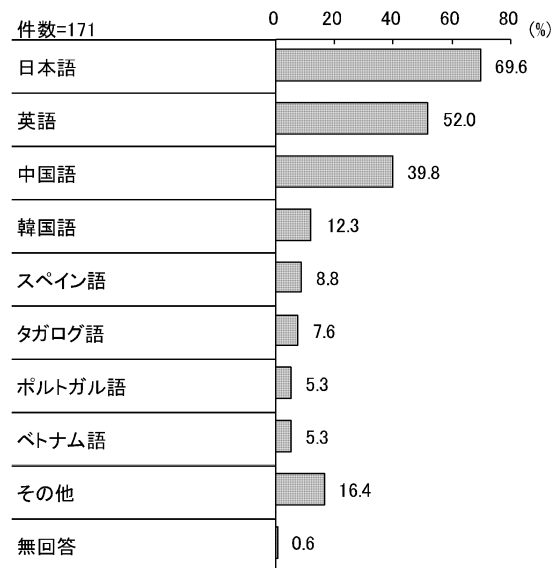


3-7 理解できる言語

質問10 あなたがわかる言語はどれですか？＜あてはまるものすべてに○印＞

理解できる言語は、「日本語」が69.6%で最も高く、次いで「英語」が52.0%、「中国語」が39.8%、「韓国語」が12.3%となっています。その他の言語は、イタリア語、フランス語などのヨーロッパの国の言語や、インドネシア語やセブアノ語など東南アジアの国の言語となっています。

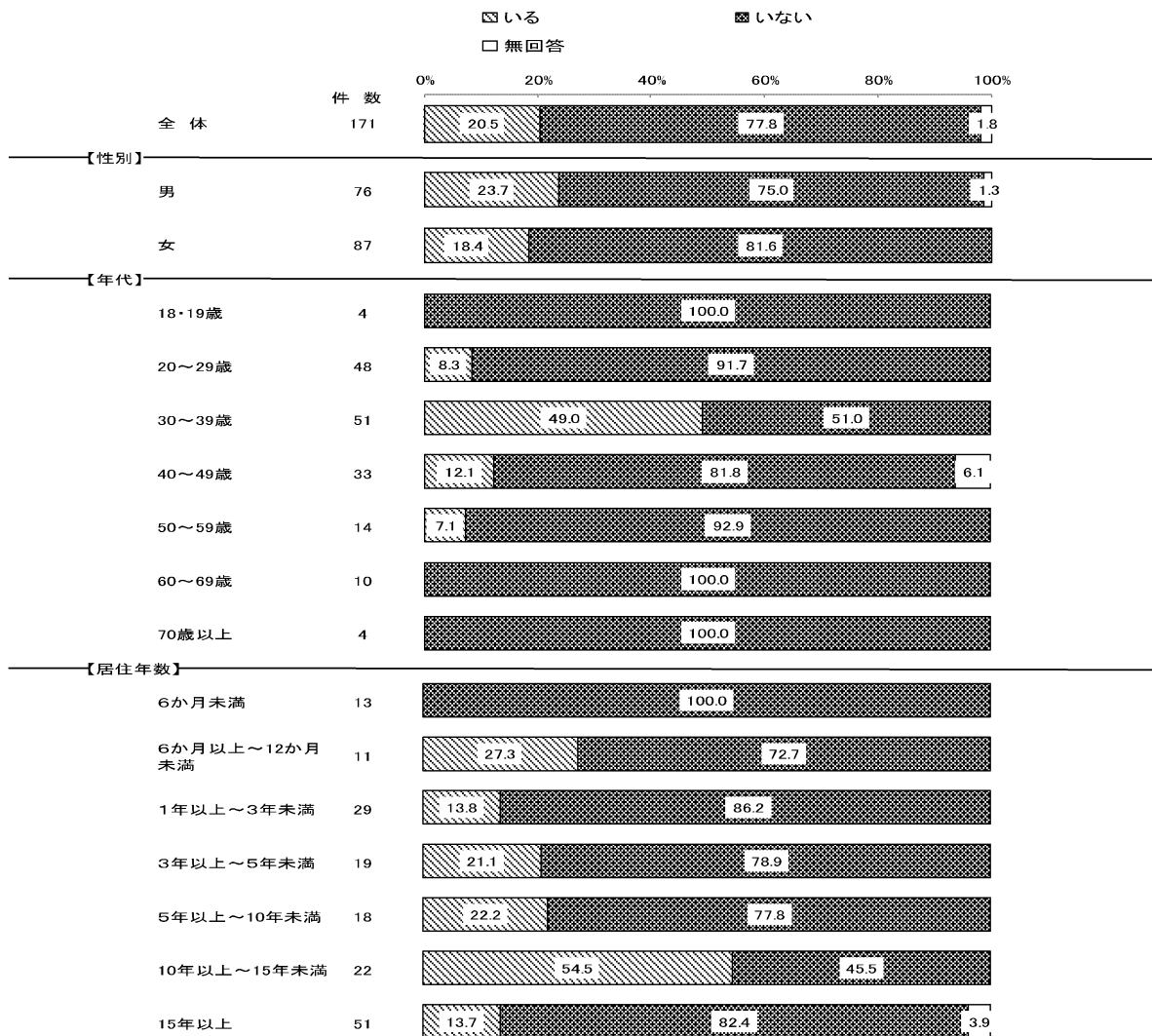
日本の周辺国の言語である中国語・韓国語を除くと、スペイン語とタガログ語の割合が高くなっています。



3-8 0歳～5歳の子どもの有無

質問11 今、あなたには0歳から5歳までの子どもがいますか？＜1つに○印＞

0歳～5歳の子どもの有無は、「いる」が20.5%、「いない」が77.8%となっています。
性別でみると、「いる」は男性が23.7%、女性が18.4%となっています。
年代別でみると、「いる」は30～39歳（49.0%）で高くなっています。
居住年数別でみると、「いる」は10年以上～15年未満（54.5%）で高くなっています。

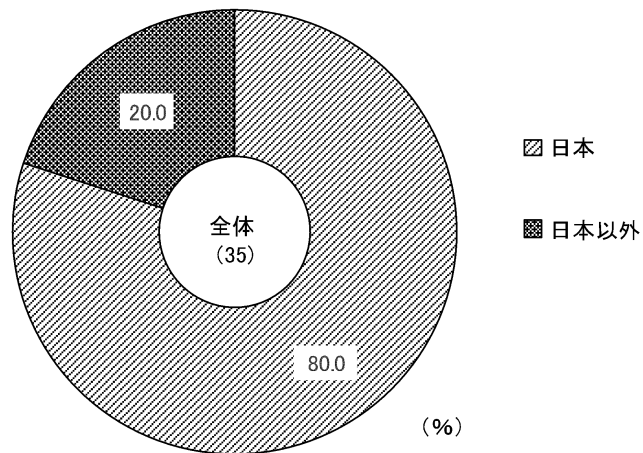


3-9 0歳～5歳の子どもが生まれた国

質問12 0歳から5歳までの子どもがいる人は教えてください。あなたの子どもが生まれた国はどこですか？＜1つに○印＞

0歳～5歳の子どもが生まれた国は、「日本」が80.0%、「日本以外」が20.0%となっています。

年齢別でみると、「日本」は30～39歳（76.0%）で7割以上となっています。



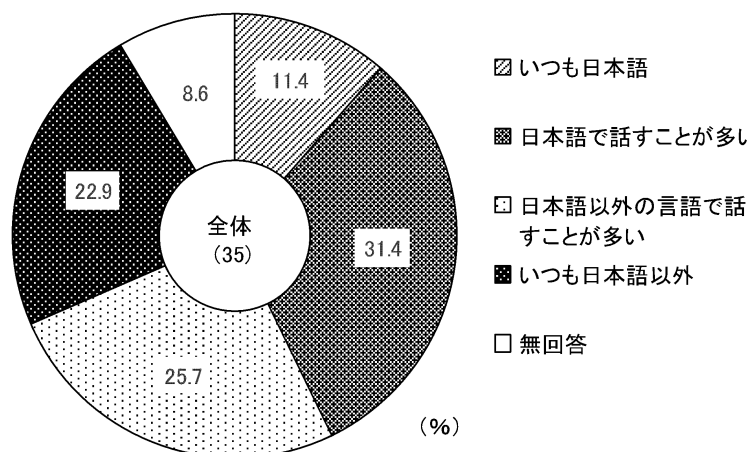
	件数	日本	日本以外
(%)			
全 体	35	80.0	20.0
問23 性別			
男	18	77.8	22.2
女	16	81.3	18.8
問22 年齢			
18・19歳	-	-	-
20～29歳	4	100.0	-
30～39歳	25	76.0	24.0
40～49歳	4	75.0	25.0
50～59歳	1	100.0	-
60～69歳	-	-	-
70歳以上	-	-	-
問27 日本での居住年数			
6か月未満	-	-	-
6か月以上～12か月未満	3	33.3	66.7
1年以上～3年未満	4	25.0	75.0
3年以上～5年未満	4	75.0	25.0
5年以上～10年未満	4	100.0	-
10年以上～15年未満	12	91.7	8.3
15年以上	7	100.0	-

3-10 0歳～5歳の子どもに話すときの言語

質問13 0歳から5歳までの子どもがいる人は教えてください。あなたは子どもに何語で話しますか？＜1つに○印＞

0歳～5歳の子どもに話すときの言語は、『日本語』（「いつも日本語」と「日本語で話すことが多い」の計）が42.8%、『日本語以外』（「日本語以外の言葉で話すことが多い」と「いつも日本語以外」の計）が48.6%となっています。

年齢別でみると、『日本語』は30～39歳で40.0%となっています。一方、『日本語以外』は30～39歳で48.8%となっています。



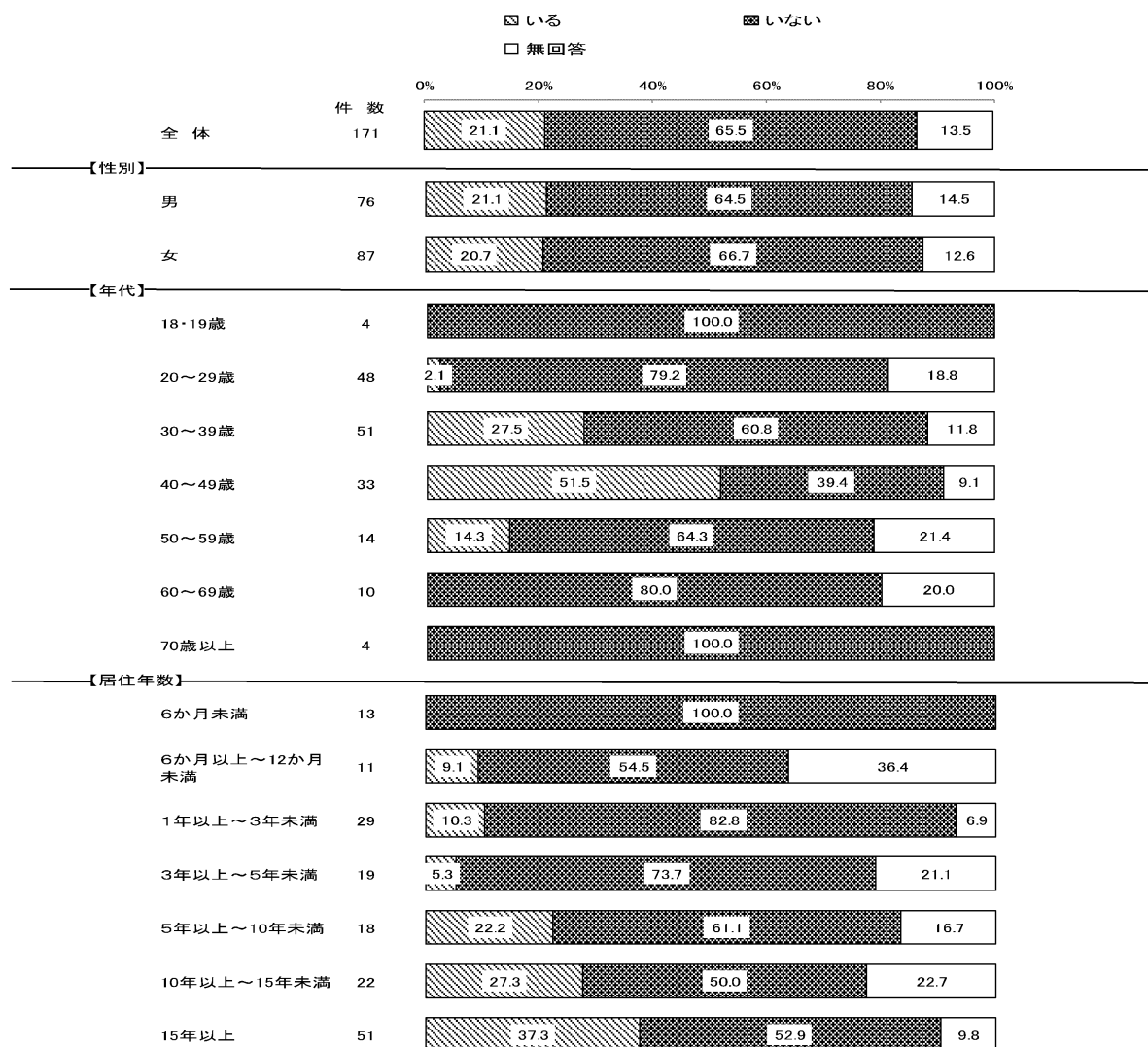
	件数	いつも日本語	日本語で話すことが多い	日本語以外の言葉で話すことが多い	いつも日本語以外	無回答
(%)						
全 体	35	11.4	31.4	25.7	22.9	8.6
問23 性別						
男	18	11.1	27.8	33.3	16.7	11.1
女	16	6.3	37.5	18.8	31.3	6.3
問22 年齢						
18・19歳	-	-	-	-	-	-
20～29歳	4	25.0	25.0	25.0	25.0	-
30～39歳	25	4.0	36.0	24.0	24.0	12.0
40～49歳	4	25.0	25.0	25.0	25.0	-
50～59歳	1	-	-	100.0	-	-
60～69歳	-	-	-	-	-	-
70歳以上	-	-	-	-	-	-
問27 日本での居住年数						
6か月未満	-	-	-	-	-	-
6か月以上～12か月未満	3	-	-	33.3	33.3	33.3
1年以上～3年未満	4	25.0	25.0	-	50.0	-
3年以上～5年未満	4	-	25.0	-	50.0	25.0
5年以上～10年未満	4	25.0	50.0	25.0	-	-
10年以上～15年未満	12	-	33.3	50.0	16.7	-
15年以上	7	14.3	42.9	14.3	14.3	14.3

4 子どもの教育について

4-1 6歳～15歳の子どもの有無

質問14 今、あなたに6歳から15歳までの子どもがいますか？＜1つに○印＞

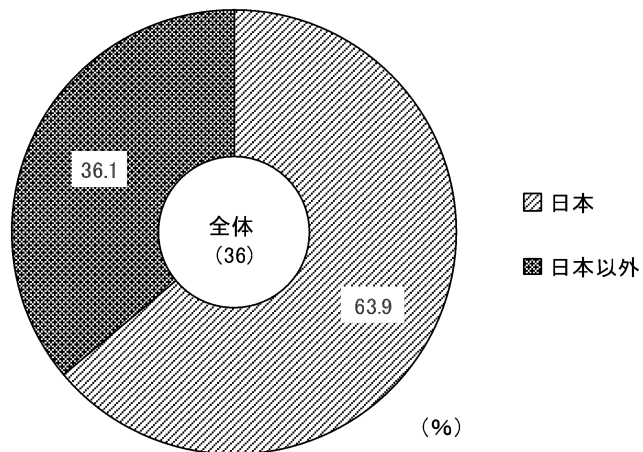
6歳～15歳の子どもの有無は、「いる」が21.1%、「いない」が65.5%となっています。
性別でみると、「いる」は男性が21.1%、女性が20.7%となっています。
年代別でみると、「いる」は40～49歳（51.5%）で高くなっています。
居住年数別でみると、「いる」は5年以上の居住で年々増加傾向にあります。



4-2 6歳～15歳の子どもが生まれた国

質問15 6歳から15歳までの子どもがいる人は教えてください。あなたの子どもが生まれた国はどこですか？＜1つに○印＞

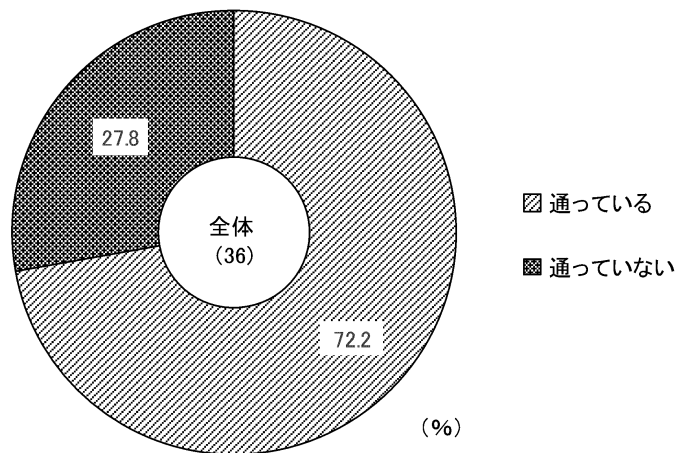
6歳～15歳の子どもが生まれた国は、「日本」が63.9%、「日本以外」が36.1%となっています。



4-3 6歳～15歳の子どもの日本の小学校・中学校への通学状況

質問16 6歳から15歳までの子どもがいる人は教えてください。あなたの子どもは日本の小学校・中学校に通っていますか？＜1つに○印＞

6歳～15歳の子どもの日本の小学校・中学校への通学状況は、「通っている」が72.2%、「通っていない」が27.8%となっています。



4－4 小学校・中学校に通っていない理由

質問17 日本の小学校・中学校に通っていない6歳から15歳の子どもがいる人は教えてください。
通っていない理由はなんですか？＜あてはまるものすべてに○印＞

小学校・中学校に通っていない理由は、「外国人学校に通っているから」が30.0%、「日本語がわからないから」が30.0%、「日本の学校生活になじめないから」が20.0%となっています。

その他の回答は、子どもが就学年齢に達していない、子どもが外国に住んでいるなどとなっています。

件数	る外国から 外国人学校に通 っている	い授業の 内容がわか らない	ら日本語が わからないか	か学校に 行くにはお 金が	め日本の か学校生 活になじ	か入った この学校 を知らない 外国人が	そ 他
10	30.0	－	30.0	－	20.0	－	40.0 (%)

5 地域での生活について

5-1 地域の活動・行事への参加状況

質問18 あなたは、地域で行う掃除や防犯活動、お祭りなどの行事に参加していますか？

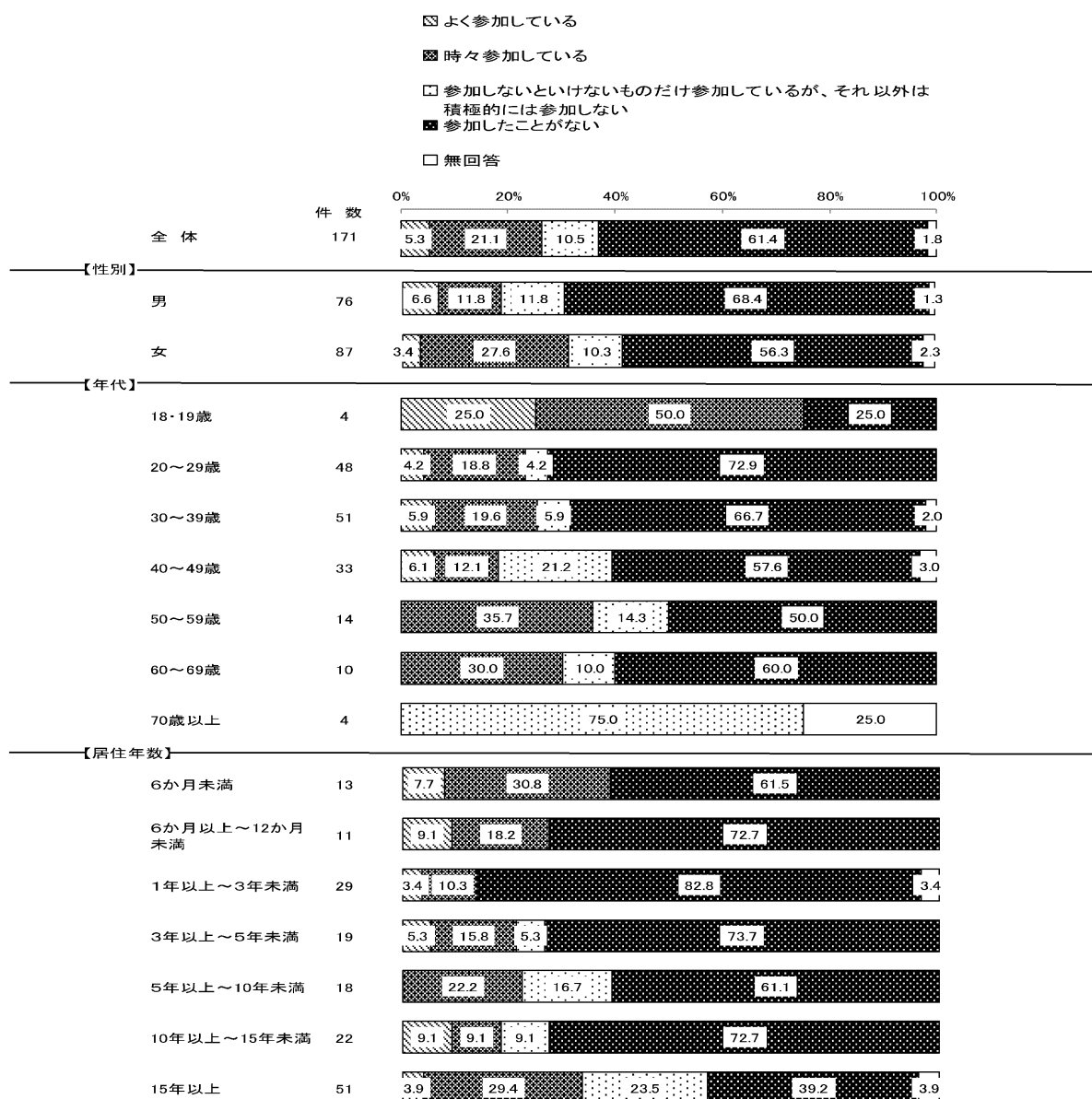
<1つに○印>

地域の活動・行事への参加状況は、『参加している』（「よく参加している」と「時々参加している」の計）が26.4%、『参加していない』（「参加しないといけないうものだけ参加しているが、それ以外は積極的には参加しない」と「参加したことがない」の計）が71.9%となっています。

性別でみると、『参加している』は男性が18.4%、女性が31.0%となっています。

年代別でみると、『参加している』は20～29歳（23.0%）、30～39歳（25.5%）の若い世代で2割以上となっています。

居住年数別でみると、「よく参加している」は全ての年数において1割未満となっています。

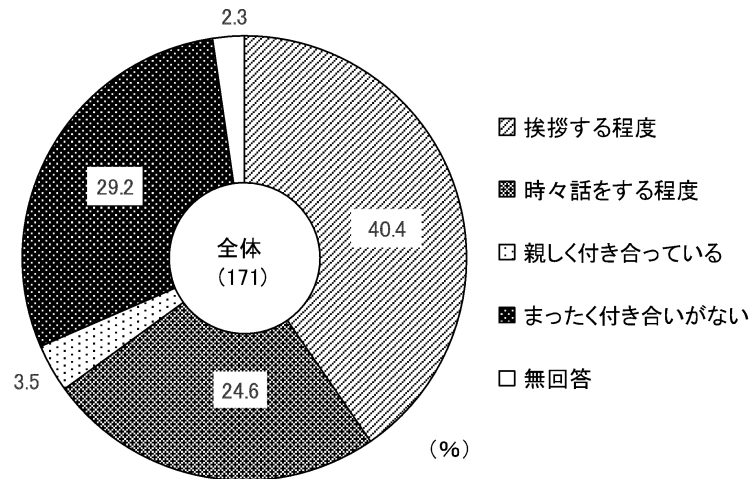


5-2 地域の人との付き合い

質問19 あなたは周りに住んでいる地域の人とどのくらい付き合いがありますか？＜1つに○印＞

地域の人との付き合いは、「挨拶する程度」が40.4%、「時々話をする程度」が24.6%、「親しく付き合っている」が3.5%となっており、約7割の外国人が地域の人との付き合いがある状況になっています。

「まったく付き合いがない」は29.2%となっています。



性別でみると、「挨拶する程度」は男女ともに最も高く、男性は44.7%、女性は35.6%となっています。

年代別でみると、「挨拶する程度」は40～49歳（45.5%）でやや高くなっています。また、「まったく付き合いがない」は20～29歳（35.4%）、30～39歳（35.3%）でやや高くなっています。

居住年数別でみると、「まったく付き合いがない」は1年以上3年未満（41.4%）で高くなっています。

	件数	挨拶する程度	時々話をする程度	親しく付き合っている	まったく付き合いがない	無回答
(%)						
全 体	171	40.4	24.6	3.5	29.2	2.3
問23 性別						
男	76	44.7	23.7	2.6	27.6	1.3
女	87	35.6	24.1	3.4	33.3	3.4
問22 年齢						
18・19歳	4	25.0	25.0	—	50.0	—
20～29歳	48	39.6	25.0	—	35.4	—
30～39歳	51	37.3	25.5	2.0	35.3	—
40～49歳	33	45.5	15.2	3.0	27.3	9.1
50～59歳	14	35.7	28.6	14.3	21.4	—
60～69歳	10	50.0	30.0	10.0	10.0	—
70歳以上	4	50.0	25.0	—	—	25.0
問27 日本での居住年数						
6か月未満	13	15.4	30.8	—	53.8	—
6か月以上～12か月未満	11	27.3	18.2	9.1	45.5	—
1年以上～3年未満	29	34.5	24.1	—	41.4	—
3年以上～5年未満	19	52.6	26.3	—	21.1	—
5年以上～10年未満	18	38.9	22.2	—	38.9	—
10年以上～15年未満	22	54.5	18.2	—	22.7	4.5
15年以上	51	43.1	25.5	7.8	17.6	5.9

5-3 地域の人との交流

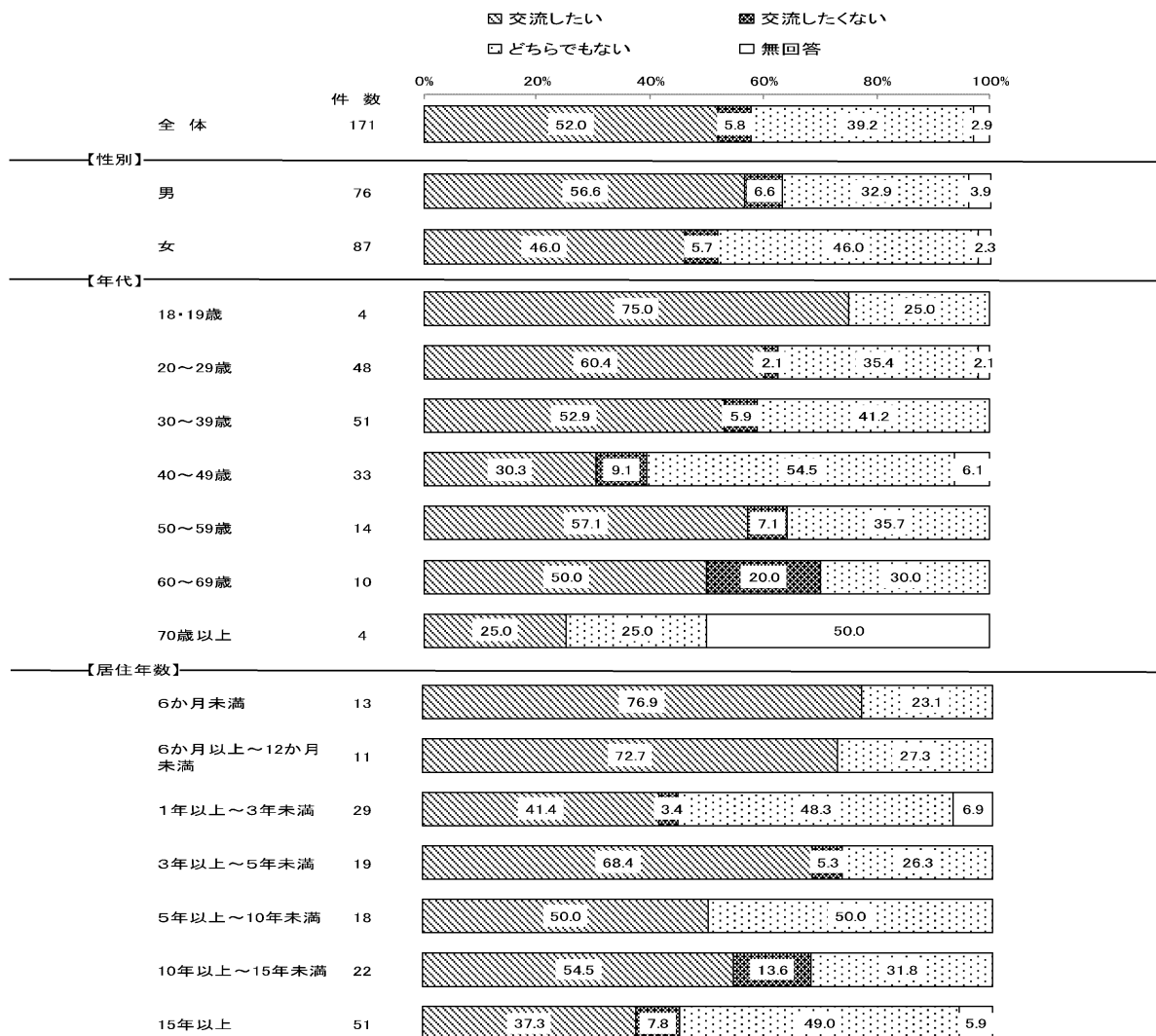
質問20 あなたは、もっと地域の人と交流したいですか？＜1つに○印＞

地域の人との交流は、「交流したい」が52.0%、「交流したくない」が5.8%となっています。

性別でみると、「交流したい」は男性が56.6%、女性が46.0%となっています。

年代別でみると、「交流したい」は20～29歳（60.4%）と30～39歳（52.9%）で高くなっています。また、「どちらでもない」は40～49歳（54.5%）で5割以上となっています。

居住年数別でみると、「交流したい」は1年以上～3年未満（41.4%）と15年以上（37.3%）でやや低くなっていますが、全体として高い傾向にあります。



6 その他（意見・要望）

質問21 あなたは毎日の生活の中で、地域になじみ、みんなで交流・共生をしていくには、何が
要だと思いますか。（外国人に必要なこと、地域の人に必要なこと、市に必要なこと、会社
や学校に必要なことなど、自由に書いてください。）

主な意見

- 交流などの活動を学校で宣伝したほうがよく知られます。地域の活動について情報を得られるツールがないからもっと宣伝をやったほうがよいと思います。
- 1. 市役所で手続きをやる時、笑顔が少ない。市役所で多言語ができたらいと思う。2. 日本人との交流の機会がよくない。交流を通して日本のお年寄り達と交流すれば、外国人が日本語を練習することができるし、お年寄りの孤独感も減らせると思う。3. 外国人は、この町で生活しやすいかどうかはこの町の政策と町の生活品質から考えている。移住してきた人は、最初友達作りも難しくて言葉が通じない時助けてほしい時がある。もっとボランティアの活動を外国人も参加させれば外国人もこの町を愛する、そして溶け込むと思う。
- 各国のそれぞれのコミュニティを作ってその中で助け合う、日本語の上手な人や日本語がうまくなくても社交的な人が他の国のコミュニティの人や日本のいろいろな委員会などに加わっていくといい。市は各国それぞれのコミュニティの人が集まる機会、場所（調理場や食事できるスペース）を提供したり困っていることを聞くようにする（聞いて解決するように）。学校、子どもは日本語を覚えるのが早いので生活に慣れた子には新しく来た子を手助けするボランティアをしてもらう。市も会社も学校も（外国人の）人が困っていることや相談したいことを言い易い仕組みや環境を整える。
- 共生のためにはまずはルールを守ることによって信頼を得ることだと思います。言葉がわからずゴミの分別やアパートのルールなど守れないと、「だから外国人は」と言われます。（ルールを守らないのは日本の方でもいますが、外国人だと言われやすい）私は特別永住者でずっと日本に住んでいるので、日本語があまりできないことでルールを知らない外国人を見ると複雑です。
- 英語でサービスを提供できる医師や病院のリストがあると便利だと思います。
- いつも学校で他の親御さんとコミュニケーションをとるようにしています。そうすれば、困ったことがあった時にいつでも気軽に聞ける友達が増えます。
- 地域の人にはもっと人種差別を減らすべきです。今までで一番差別的に、あるいは住んだことのある他の地域（東京や東北、関西）では経験したことのないような形でこの地域の人から扱いを受けた例がいくつかあります。
- 全ての住民に開かれたイベントや活動を行うのは良いことですし、大変役立つと思いますが、私の仕事の予定が不定期なのでなかなか参加することができません。イベントの多くは、平均的な労働時間の人向けに予定されているので、そのような人にとっては役立ちます。交代勤務や、人に語学などを教えるような個人で働いている人は、多くのイベントや活動に参加するためには仕事を休まなければならない、不便ですし、家計収入にも差し障ります。もっと他にも選択肢があれば助かります。
- 政治へ参加できるようになることは重要だと思います。たとえ外国人住民が投票できないとしても、私たちには、市役所や学校理事会のような、市の管理する行事について知る権利があり、そこでどのような事が決定されているのかを聞き、意見を言うことができるはずです。そのような行事がいつどこで行われるのか知るのには難しいです（これは外国人にとっての問題だけではなく、多くの日本人住民にとっても同じだと思います）。もしそのような情報が、メールまたはインターネットのページにアクセスするなどして、もっと簡単に配布されたら良いと思います。社会の意思決定に私たちが発言権を持っているという感覚があれば、社会という側面のコミュニティにさらに参加できるようになります。もちろん多言語での情報があるとありがたいですが、この場合日本語のみでもおそらく大丈夫です。

VI 資料

1 日本人市民アンケート調査票

＜長久手市多文化共生に関するアンケート調査＞

あなたの声をお聞かせください

調査のお願い

日頃から市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、長久手市では、外国人市民が年々増加しており、現在約 1,000 人の方が地域に暮らしています。

このアンケートは、市民のみなさまが外国人市民についてどのような意識をお持ちなのかをお聞きするもので、市民の皆様の中から無作為に抽出した 1,000 人を対象に実施します。集計結果は統計的に処理し公表させていただく予定ですが、統計以外の目的に使用することはありません。なお、調査結果につきましては、本市のホームページなどにより、みなさまにお知らせいたします。

お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ぜひ、みなさまの率直なご意見をお聞かせください。ご協力をお願いします。

質問数 17 問 所要時間約 20 分

2019年12月

長久手市長 吉田 一平

ご記入にあたってのお願い

- このアンケートはインターネットからでも回答することができます。
※インターネットで回答した場合は、このアンケート調査票は返送しないでください。
- 封筒の宛名の方が答えられない場合、ご本人に代わってご家族の方がお答えください。
(その場合、「1 あなたご自身について」には回答された方のご記入ください)
- ご回答は質問ごとの指示に従い、番号に○印をつけてください。質問によって○印をつける数が異なりますので、お間違えないようにご注意ください。
- この調査票は、1月6日(月)までにご記入のうえ、同封の返信用封筒に入れ、ご投函ください。切手は不要です。
- ご不明な点がございましたら、以下の連絡先までお問合せください。



長久手市くらし文化部たつせがある課

TEL : 0561-56-0641 FAX : 0561-63-2100 e-mail : tatsuse@nagakute.aichi.jp

※このアンケートは、2019年10月1日時点の情報でお送りしています。

多文化共生とは

あいち多文化共生推進プラン2022（愛知県2018年3月策定）では、

国籍や民族などのちがいににかかわらず、すべての県民が互いの文化的背景や考え方などを理解し、ともに安心して暮らせ活躍できる地域社会

を多文化共生社会と定義し、

愛知県が目指す「多文化共生社会」の姿を、次のように位置づけています。

多文化共生社会の形成の推進により、国籍や民族などのちがいににかかわらず、すべての県民の人権が尊重され、県民一人ひとりが地域社会の対等な構成員として、個人の能力を十分発揮しながら、地域社会の様々な活動に主体的に参加し活躍できる環境づくりが進みます。そして、幅広い分野で内外から多数の優れた人材を引き寄せることが期待され、地域への定着に取り組むことが、地域活力の源になります。

様々な推進主体との連携・協働を図りながら、国籍や民族などの異なる人々がともに安心して生活できる、豊かで活力に満ちた魅力ある地域社会をめざします。

1 あなたご自身について

質問1 あなたの年齢は？

<1つに○印>

- | | | |
|------------|-----------|-----------|
| 1. 18歳・19歳 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 |
| 4. 40～49歳 | 5. 50～59歳 | 6. 60～69歳 |
| 7. 70歳以上 | | |

質問2 あなたの職業は？

<1つに○印>

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. 自営業 | 2. 会社員・公務員 | 3. 契約社員・派遣社員 |
| 4. パート・アルバイト | 5. 学生 | 6. 専業主婦（夫） |
| 7. 休職中（失業中） | 8. 無職（定年後を含む） | |
| 9. その他（ | | ） |

質問3 あなたのお住まいの小学校区は？

<1つに○印>

- | | | |
|-----------|---------|-----------|
| 1. 長久手小学校 | 2. 西小学校 | 3. 東小学校 |
| 4. 北小学校 | 5. 南小学校 | 6. 市が洞小学校 |

※小学校区がわからない場合は郵便番号を記入してください（

）

質問4 あなたは長久手市に住んで、通算何年になりますか？

<1つに○印>

- | | | |
|--------------|---------------|-------------|
| 1. 半年未満 | 2. 半年以上1年未満 | 3. 1年以上5年未満 |
| 4. 5年以上10年未満 | 5. 10年以上20年未満 | 6. 20年以上 |

2 日常での外国人市民との関わりについて

質問5 お住まいの地域で、日ごろ外国人と関わるのはどのような場面ですか？

<あてはまるものすべてに○印>

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 自宅の近所であいさつする | 2. 地域の活動（自治会の清掃、祭りなど） |
| 3. 職場・学校 | 4. 子どもの学校を通じた親同士の交流 |
| 5. 行政などが行う国際交流のイベント | 6. 外国人への支援活動（日本語教室など） |
| 7. 趣味のグループやサークルの活動 | 8. 友人・家族との私的な交流 |
| 9. 地域の店や駅、道ばたで見かける | 10. まったく関わることはない |
| 11. 地域に住んでいない（知らない） | |
| 12. その他（ | ） |

質問6 あなたには、親しい外国人がいますか？

<1つに○印>

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 何でも話し合える人がいる | 2. 会ったら近況を話す程度の人がある |
| 3. あいさつをする程度の人がある | 4. まったくいない |

質問7 あなたは、地域に外国人が増えていくことをどう思いますか？

<各項目であてはまるものに○印>

	思う	どちらでもない	思わない
① 外国の言葉や文化、習慣などを知る機会が増えるので良い	1	2	3
② 治安が悪化する可能性があり不安だ	1	2	3
③ 地域で外国人と交流できるので良い	1	2	3
④ 習慣や文化の違いから外国人とトラブルが起こるので不安だ	1	2	3
⑤ 地域の経済的な発展につながるので良い	1	2	3
⑥ 外国人向けの施策、インフラが必要になるなど、社会的な負担が増えるので不安だ	1	2	3

質問8 外国人が近所に住んでいて、良かったと思うことはありますか？

＜あてはまるものすべてに○印＞

1. 外国の文化・言葉を学ぶことができた
2. 外国人住民の友人ができた
3. 地域に活気が出た
4. 地域の生活ルールを再確認できた
5. 地域の活動や助け合いが増えた
6. 特にない
7. その他（ ）

質問9 あなたは、日常生活で外国人との間でトラブルを体験したことがありますか？

<1つに〇印>

1. はい 2. いいえ



「はい」と答えた方は、具体的なトラブルの内容をお書きください

質問 10 あなたは、ご自分以外（家族や友人、マスコミ等のメディアなど）から外国人とのトラブルについて聞いたことがありますか？ ＜1つに○印＞

<1つに〇印>

1. はい 2. いいえ



「はい」と答えた方は、具体的なトラブルの内容をお書きください

3 今後の外国人市民との関わりについて

質問 11 お住まいの地域で、外国人との関わりは深めるべきだと思いますか？ <1つに○印>

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 積極的に深めていくほうがよい | 2. 生活上、必要最低限はしたほうがよい |
| 3. 特に深めなくてもよい | 4. わからない |

質問 12 あなたは、外国人とこれからどのように関わっていきたいですか？ <1つに○印>

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| 1. 積極的に関わっていきたい | 2. 今くらいの関わり方でよい |
| 3. あまり関わらないようにしたい・関心がない | |

質問 12 で「1」または「2」と回答した方は、質問 13 をお答え下さい。

質問 13 どのような機会を通して外国人住民と関わりたいですか？
<あてはまるものすべてに○印>

- | | |
|---------------------|---------------------------------|
| 1. 日常的なあいさつ | 2. 地域の活動（自治会の清掃、祭りなど） |
| 3. 同じ職場・学校での交流 | 4. 子どもの学校を通じた親同士の交流 |
| 5. 行政などが行う国際交流のイベント | 6. 外国人住民への支援活動（日本語教室など） |
| 7. 災害時や緊急のとき | 8. 冠婚葬祭などでの助け合い |
| 9. 趣味のグループやサークルの活動 | 10. 友人・家族との私的な交流 |
| 11. 外国の文化や言葉に触れる活動 | 12. その他（ ） |

4 長久手市の国際交流・多文化共生施策について

質問 14 長久手市や長久手市国際交流協会で実施している、国際交流や多文化共生に関する次の取り組みを知っていますか？
 <それぞれの項目(取り組み)ごとに1つずつ○印>

長久手市や長久手市国際交流協会で実施した、または実施している国際交流や多文化共生に関する主な取り組み	と が あ る	参 加 し た こ と は な い が 知 っ て い る	参 加 し た こ と は な い が 知 っ て い る	知 ら な い
① 国際交流フェスタ	1	2	3	
② 弁論大会	1	2	3	
③ 国際交流サロン&理解講座	1	2	3	
④ ホームステイの受入れ	1	2	3	
⑤ 日本語教室	1	2	3	
⑥ 英語絵本読み聞かせ	1	2	3	
⑦ 語学講座	1	2	3	
⑧ ワーテルロー市との姉妹都市提携事業	1	2	3	

5 多文化共生の地域づくりについて

質問 15 日本人と外国人がともに安心して暮らせる社会にするため、あなたは、地域に住む外国人にどのようなことを期待しますか？
 <あてはまるものすべてに○印>

1. 日本の法律、生活ルール、習慣を守ってほしい
2. 日本語や日本の文化を学んでほしい
3. 地域住民との交流や地域の活動に参加してほしい
4. 外国の言葉や文化を教えてほしい
5. 生活の中で感じたことを提案、発言してほしい
6. 特にない
7. その他 ()

質問 16 日本人と外国人がともに安心して暮らせる社会にするため、あなたは、どのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか？

＜あてはまるものすべてに○印＞

1. 外国人に対し、日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどについて周知する
2. 外国人に対する相談体制や多言語での情報提供を充実する
3. 外国人に対し、日本語の学習を支援する
4. 外国人の労働環境の改善を促す
5. 外国人の子どもに対する教育を充実させる
6. 日本人と外国人の交流の場をつくる
7. 外国人に対する医療・保健・福祉分野の施策を充実させる
8. 日本人に対し、多文化共生に関する意識啓発や国際理解を促進する
9. 外国人が地域社会に積極的に参画するよう促す
10. 外国人に意見表明の場や市政への参加の機会を増やす
11. 日本人に対し、外国語の学習を支援する
12. 着実に多文化共生施策を推進するために、計画を策定する
13. 特になし
14. わからない
15. その他（

6 その他

質問 17 あなたは毎日の生活の中で、地域に住む外国人が地域になじみ、彼らと交流・共生していくためには、何が必要だと思いますか。（地域の日本人に必要なこと、外国人に必要なこと、市に必要なこと、企業に必要なことなど、自由にお書きください。）

This image shows a full page of handwriting practice paper. It features multiple sets of horizontal dashed lines spaced evenly down the page, providing a guide for letter height and placement. The background is white, and there are no margins or additional markings.

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

1月6日(月)までに同封した封筒に入れて、ポストにご投函ください。(切手不要)

2 外国人市民アンケート調査票

ながくてし たふん かきょうせい かん あんけーと ちょうさ
＜長久手市多文化共生に関するアンケート調査＞

あなたの声をお聞かせください

ながくてし がいこくじん ふ
長久手市に住む外国人が増えています。

みなさんが困っていることを知るために、

あんけーと ちょうさ おこな
アンケート調査を行います。

あなたが思っていることを教えてください！

2019年12月

ながくてし ちょう よしだ いっぺい
長久手市長 吉田 一平

吉田 一平

●あんけーと いんたーねっと こた
●アンケートはインターネットからでも答えることができます●

にほんご 日本語		中文	
Tagalog		English	

※このアンケートは、2019年10月1日時点の情報で送っています。

＜注意すること＞

- インターネットで答えた人は、このアンケート用紙を送り返さないでください。
- このアンケート用紙に書いた人は、1月6日までに同じ封筒に入っている返信用封筒で送り返してください。（切手はいりません。）
- わからないことがあれば連絡してください。
ながくてし たふん かきょうせい
長久手市くらし文化部たつせがある課

TEL : 0561-56-0641 (日本語のみ) E-mail : tatsuse@nagakute.aichi.jp

1 生活の情報について

質問 1 あなたは生活に必要な情報を、どうやって知りますか？ <あてはまるものすべてに○印>

- | | |
|------------------------------------|------------------|
| 1. 母国語のテレビ・新聞・雑誌 | 2. 日本語のテレビ・新聞・雑誌 |
| 3. 市の広報紙やホームページ | 4. 日本語教室 |
| 5. SNS (Facebook、LINE、WhatsApp など) | 6. 日本の友人・親族 |
| 7. 同じ国出身の友人やコミュニティ | |
| 8. 会社や学校 | 9. その他 () |

質問 2 あなたが不安に感じていること、困っていることはありますか？

<あてはまるものすべてに○印>

- 日本語のコミュニケーションに関すること
- ごみの分け方など生活情報の入手に関すること
- 町内会など近所の活動や近所付き合いに関すること
- 出産や子育てに関すること
- 子どもの教育に関すること
- 地震や台風などの災害に関すること
- 火災や急なけがなど緊急時の対応に関すること
- 交通ルールに関すること
- その他 ()
- 特に困ったことはない

質問 3 あなたは、母国語で必要だと思う情報はありますか？ <あてはまるものすべてに○印>

- | | | |
|---------------------|-------------------|-------------|
| 1. 子どもの教育のこと | 2. 住宅のこと | 3. 医療、福祉のこと |
| 4. 税金のこと | 5. 災害時の情報 (避難所など) | 6. ごみのこと |
| 7. 日本や地域の文化・生活習慣のこと | 8. 地域の行事・催しのこと | |
| 9. その他 () | | |
| 10. 特にない | | |

2 げんご 言語について

質問4 いま にほんご まな 今、日本語を学んでいますか？ しるし
<1つに○印>

1. まな 学んでいる
2. まな 学んでいない

質問5 いま にほんご まな ひと こた 今、日本語を学んでいる人は答えてください。どうやって日本語を学んでいますか？ しるし
<あてはまるものすべてに○印>

1. じぶん きょうかしょ あぶり つか べんぎょう 自分で教科書やアプリなどを使って勉強している
2. てれび らじお べんぎょう テレビ・ラジオで勉強している
3. にほんごきょうしつ い にほんご教室に行っている
4. しょくば ゆうじん まな 職場・友人から学んでいる
5. まわ かいわ き おぼ 周りの会話を聞いて覚えている
6. その他 ()

質問6 いま にほんご まな ひと こた なん にほんご まな 今、日本語を学んでいる人は答えてください。何のために日本語を学んでいますか？ しるし
<あてはまるものすべてに○印>

1. にほん せいかつ ひつよう 日本で生活していくために必要だから
2. にほんじん こみゅにけい しょん と 日本人とよりコミュニケーションを取るため
3. しごと 仕事のため
4. がっこう つか 学校で使うため
5. し かくしやとく 資格取得のため
6. その他 ()

質問7 いま にほんご まな ひと こた にほんご まな 今、日本語を学んでいない人は答えてください。日本語を学んでいないのはなぜですか？ しるし
<あてはまるものすべてに○印>

1. にほんご べんぎょう ひつよう 日本語ができるので勉強する必要がないから
2. にほんご がい げんご じゅうふんせいかつ 日本語以外の言語で十分生活できるから
3. べんぎょう かね 勉強するお金がないから
4. べんぎょう じかん 勉強する時間がないから
5. どの にほんごきょうしつ どこに日本語教室があるかわからないから
6. にほんごきょうしつ じかん あ 日本語教室の時間が合わないから
7. にほんご むずか べんぎょう 日本語が難しいので勉強したくないから
8. その他 ()

質問 8

次のようなとき、日本語を上手に話せなくて困ったことはありましたか？

＜あてはまるものすべてに○印＞

- | | | |
|---------------------|---------------|-------------|
| 1. 近所付き合いのとき | 2. 電車やバスに乗るとき | 3. 買い物をするとき |
| 4. 市役所の窓口で | 5. 郵便局や銀行の窓口で | 6. 仕事のとき |
| 7. 授業のとき | 8. 学校の先生と話すとき | 9. 病気になったとき |
| 10. 災害についての情報を探するとき | | |
| 11. その他（ ） | | |
| 12. 困ったことはない | | |

質問 9

あなたは、日本語がどのくらいできますか？

(1) 聞く

＜あてはまるものすべてに○印＞

1. テレビのニュースがわかる
2. ゆっくり話してくれれば理解できる
3. 単語を聞き取ることができる
4. まったくわからない

(2) 話す

＜あてはまるものすべてに○印＞

1. 自分の意見を発表できる
2. 日常会話ができる
3. 単語を話すことができる
4. まったく話せない

(3) 読む

＜あてはまるものすべてに○印＞

1. 新聞や雑誌を読むことができる
2. ひらがなが読める
3. カタカナが読める
4. 簡単な漢字が読める
5. まったく読めない

(4) 書く

＜あてはまるものすべてに○印＞

1. 漢字を混ぜて意見等が書ける
2. 簡単な文章が書ける
3. ひらがなが書ける
4. カタカナが書ける
5. 簡単な漢字が書ける
6. まったく書けない

しつもん 質問10 ^{げんご}あなたがわかる言語はどれですか？ ^{しるし}＜あてはまるものすべてに○印＞

1. 日本語 2. 中国語 3. 韓国語 4. 英語
5. ポルトガル語 6. スペイン語 7. タガログ語 8. ベトナム語
9. その他（ ）

質問11 ^{いま}今、^{さい}あなたには0歳から^{さい}5歳までの子どもが^にいますか？ ^{しるし}<1つに0印>

1. いる 2. いない

質問12 0歳から5歳までの子どもがいる人は教えてください。あなたの子どもが生まれた国はどこですか？
＜1つに○印＞

1. ^{にほん}日本 2. ^{にほん いが い}日本以外

質問13 0歳から5歳までの子どもがいる人は教えてください。あなたは子どもに何語で話しますか？

<1つに○印>

1. いつも日本語 ^{にほんご}
2. 日本語で話すことが多い ^{にほんご はな おお}
3. 日本語以外の言語で話すことが多い ^{にほんご いがい ことば はな おお}
4. いつも日本語以外 ^{にほんご いがい}

3 こどもの^{きょういく}教育について

質問14 いま 今、さい あなたに6歳から15歳までの子どもがいますか？ さい こ

<1つに0^{しるし}印>

1. いる 2. いない

質問15 6歳から15歳までの子どもがいる人は教えてください。あなたの子どもが生まれた国はどこですか？

しるし
＜1つに○印＞

1. ^{にほん}日本 2. ^{にほんいがい}日本以外

質問16 6歳から15歳までの子どもがいる人は教えてください。あなたの子どもは日本の小学校・中学校に通っていますか？

＜1つに〇^{しるし}印＞

1. ^{かよ}通っている 2. ^{かよ}通っていない

しゅもん 質問17 にほん しょうがっこう ちゅうがっこう かよ さい さい こ ひと こた 日本にほんの小学校・中学校しょうがっこう・ちゅうがっこうに通かよっていない6歳さいから15歳さいの子こどもがひといる人ひとは答こたえてください。

かよ　　りゆう
通っていない理由はなんですか？

＜あてはまるものすべてに○^{しるし}印＞

1. 外国人学校に通っているから
がいこくじんがっこう かよ
2. 授業の内容がわからないから
じゅぎょう ないよう
3. 日本語がわからないから
にほんご
4. 学校に行くにはお金がかかるから
がっこう い かね
5. 日本の学校生活になじめないから
にほん がっこうせいかつ
6. 日本の学校に外国人が入れることを知らなかったから
にほん がっこう がいこくじん はい し
7. その他 ()
た

4 ^{ちいき}地域^{せいかつ}での生活について

ちいき おこな そうじ ほうはんかつどう まつ きょうじ さんか
 地域で行う掃除や防犯活動、お祭りなどの行事に参加していますか？

＜1つに0^{しるし}印＞

1. よく参加している さんか
2. 時々参加している ときどきさんか
3. 参加しないといけないものだけ参加しているが、それ以外は積極的に参加しない さんか いがい せっきよくてきさんか
4. 参加したことがない さんか

あなたがまわすらいきひとつあなただけで周りに住んでいる地域の人とどのくらい付き合いがありますか？

＜1つに0冊＞

1. 挨拶をする程度 あいさつ ていど 2. 時々話をする程度 ときどきはなし ていど
3. 親しく付き合っている したつきあ 4. まったく付き合いがない つきあ

質問20

あなたは、もっと地域のひとと交流したいですか？

＜1つに○印＞

1. 交流したい
2. 交流したくない
3. どちらでもない

5 その他

質問21

あなたは毎日の生活の中で、地域になじみ、みんなで交流・共生をしていくには、何が必要
だと思いますか。(外国人に必要なこと、地域の人に必要なこと、市に必要なこと、会社や学校
に必要なことなど、自由に書いてください。)

6 あなた自身について

質問22 あなたの年齢は？ ＜1つに○印＞

- | | | |
|------------|-----------|-----------|
| 1. 18歳・19歳 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 |
| 4. 40～49歳 | 5. 50～59歳 | 6. 60～69歳 |
| 7. 70歳以上 | | |

質問23 あなたの性別？ ＜1つに○印＞

- | | |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

質問24 あなたの国籍は？ ＜1つに○印＞

- | | | | |
|------------|-----------|---------------|---------|
| 1. 中国 | 2. 韓国・朝鮮 | 3. ブラジル | 4. アメリカ |
| 5. フィリピン | 6. ベトナム | 7. ペルー | 8. カナダ |
| 9. オーストラリア | 10. スリランカ | 11. その他（国名： ） | |

質問25 あなたの仕事は？ ＜1つに○印＞

- | | | |
|----------------|--------------|---------------|
| 1. 自分で会社を営んでいる | 2. 会社員 | 3. 契約社員・派遣社員 |
| 4. パート・アルバイト | 5. 研修生・技能実習生 | 6. 学生 |
| 7. 専業主婦（夫） | 8. 休職中（失業中） | 9. 無職（定年後を含む） |
| 10. その他（ ） | | |

質問26 あなたは自分自身の在留資格を把握していますか？ ＜1つに○印＞

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

質問27 あなたは日本にどのくらい住んでいますか？ ＜1つに○印＞

- | | | |
|--------------|-----------------|----------------|
| 1. 6か月未満 | 2. 6か月以上～12か月未満 | 3. 1年以上～3年未満 |
| 4. 3年以上～5年未満 | 5. 5年以上～10年未満 | 6. 10年以上～15年未満 |
| 7. 15年以上 | | |

質問28 いま いっしょに す ひと 今、あなたと一緒に住んでいる人はいますか？ しるし <あてはまるものすべてに○印>

1. おと づま 夫・妻	2. こ 子ども	3. ちちおや ははおや 父親・母親	4. そ ふ ぼ 祖父母
5. まご 孫	6. きょうだい 兄弟姉妹	7. た しんぞく その他の親族	8. ゆうじん しょくば ひと 友人・職場の人
9. く ひとり暮らし			

質問29 す ばしょ ゆうびんばんごう あなたが住んでいる場所の郵便番号は？

〒	4	8	0	—				
---	---	---	---	---	--	--	--	--

きょうりやく まこと
ご協力いただき、誠にありがとうございました。

が お おな ふうとう はい へんしんようふうとう い
書き終わったら、同じ封筒に入っている返信用封筒に入れて、1月6日までに送り返してください。
きって
(切手はいりません。)